FUJIIRYŌKI

添付文書

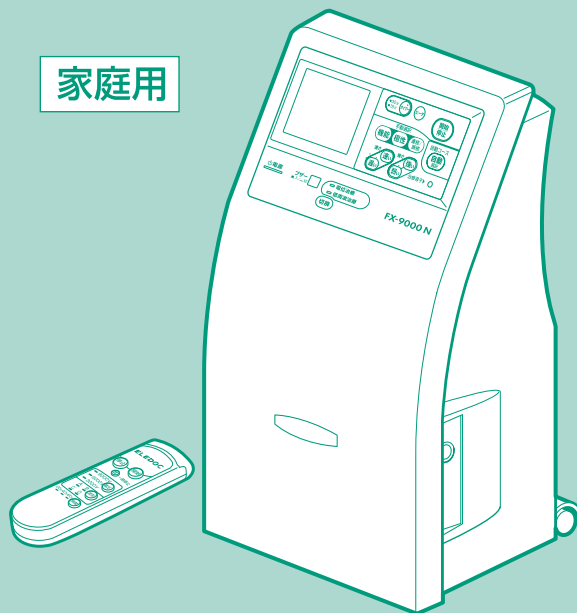
取扱説明書

このたびは当社製品をお買い求めいただき、
誠にありがとうございました。
この説明書には、ご使用になる上で大切な
事項が記載されております。ご使用前に必ず
お読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、別紙「保証書」とともに
大切に保存してください。

管理医療機器
機械器具78家庭用電気治療器
(JMDNコード 70995000)
医療機器認証番号
222AKBZX00104000

低周波・電位組合せ
家庭用医療機器
エレドック N

品番：FX-9000 N

家庭用

本器は医療機器として製造販売認証を受けており、以下の効能効果が認められています。

- 電位治療　：　頭痛、肩こり、不眠症及び慢性便秘の緩解
- 低周波治療：　肩こりの緩解、麻痺した筋肉の萎縮の予防及びマッサージ効果

※PL（製造物責任）に関する事項を記載しています。必ずお読みください。

目　次

はじめに

安全のためにお守りください ------ 4
　安全のために ------ 5
　ご使用前のご注意 ------ 6
　ご使用中のご注意 ------ 8
　ご使用後のご注意 ------ 9
　お手入れ時のご注意 ------ 10
　保存時のご注意 ------ 10
特長 ------ 11
電位治療と低周波治療について ------ 12
各部のなまえ ------ 13

使いかた

電位治療器の使いかた ------ 16
　リモコンの乾電池の入れかた ------ 16
　ご使用前の準備 ------ 17
　操作方法 ------ 19
電位治療器用検電器について ------ 23
低周波治療器の使いかた ------ 24
　ご使用前の準備 ------ 24
　治療導子の貼りつけ例 ------ 26
　自動コースの使いかた ------ 27
　手動選択コースの使いかた ------ 31
　予熱機能とヒータ単独機能の使いかた ------ 35
　予熱機能の操作方法 ------ 36
　ヒータ単独機能の操作方法 ------ 38
治療が終ったら ------ 40

お手入れほか

お手入れと保存 ------ 42
製品を廃棄するときのお願い ------ 44

アフターサービス 仕　様

故障かな？と思ったら ------ 45
アフターサービスと保証 ------ 47
仕様 ------ 48

安全のために必ずお守りください

シンボルマークの解説

下記のシンボルマークが付いている文書は、お客様の安全確保のためのものです。
必ずお読みいただき、指示にしたがってください。

	危険度の目安
⚠危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度を示しています。
⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

お 願 い　機器の故障を防ぐなどの目的の事項を示しています。

表示マークの説明

マーク	タイトル	意　味
⚠	一　般	特定しない一般的な警告、注意の通告。
🚫	一　般	特定しない一般的な禁止の通告。
❗	一　般	特定しない一般的な使用者の行為を強制する表示。
	水ぬれ禁止	本器を水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電によって感電や発火の可能性がある場合の禁止の通告。
	ぬれ手禁止	本器をぬれた手で扱うと感電する可能性がある場合の禁止の表示。
	電源プラグをコンセントから抜け。	使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示する表示。
	分解禁止	本器を分解することで感電などの障害が起こる可能性がある場合の禁止の表示。

つづく

安全のために

⚠危険

禁止

次のような医用電気機器との併用は、誤動作を招く恐れがあるので、絶対に使用しない。
- ペースメーカ，植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
- 心電計などの装着形の医用電気機器

心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人は、絶対に使用しない。

⚠警告

必ず守る

次の方は使用をさけるか、必ず医師に相談のうえ使用する。
事故や体調不良を起す可能性。
- せきついの骨折,ねんざ,肉離れなど急性(とう痛性)疾患の人
- 衰弱している人
- 悪性しゅようのある人
- 酒気帯びしている人
- 急性炎症症状(けん怠感,悪寒,血圧変動など)の強い時期にある人
- 心臓に障害のある人
- 自分で意思表示できない人
- 温度感覚喪失が認められる人
- 安静を必要とする人
- 体温38℃以上(有熱期)の人
- 高度な末しょう循環障害による知覚障害のある人
- 妊娠初期の不安定期または出産直後の人
- 皮膚知覚障害、又は皮膚に異常(感染症、創傷など)のある人、低温やけどをしやすい人
- 医師の治療を受けている人や、特に体に異常を感じているとき

次の方は、取り扱える人が必ず付き添って使用する。
1.お年寄り、子供、知覚障害の方　2.取扱説明書の内容を理解できない方
事故や体調不良を起す恐れ。
ご自身以外（友人など）の方が使用するときは付き添うか、よく説明してから使用させる。
お使いになる方に、取扱説明書を読んでからお使いになるようご説明ください。

乳幼児および身体に障害のある方には使用させない。事故や体調不良を起す恐れ。

禁止

飲酒時や、睡眠薬を飲んだ時は使用しない。事故の原因。

交流100V電源以外では使用しない。火災、感電、事故の原因。

取扱説明書に記載されている治療以外の目的で使用しない。事故やトラブルの原因。

本体を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。事故や故障の原因。
誤って落とした場合は、異常がなくても必ず点検を依頼してください。

分解禁止

本器の改造、分解、修理は絶対にしない。
火災、感電、事故の原因。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源コードの電源プラグや器具側プラグの抜き差しをしない。
感電の原因。

水ぬれ禁止

本器は水洗いしたり、水をかけたりしない。また浴室や台所など水分や湿気の多い場所で使用しない。ショート、感電、発火の原因。

電源プラグを抜く

お手入れや使用しないときは必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜く。
感電、けが、火災、故障の原因。

電源プラグを抜くときは、コード部分を持たずに必ず先端のプラグ部分を持って抜く。
感電やショートして発火の原因。

⚠注意

必ず守る

次の方は医師に相談のうえ使用する。
- 高血圧の人
- 睡眠時無呼吸症の人
- 不整脈のある人
- 喘息の人

安全のために必ずお守りください

ご使用前のご注意

⚠警告

必ず守る

リモコンのスイッチ操作を行ってからイスに座る場合、必ず最初に絶縁マットの上に乗り、次に通電シートに座る。（イスは壁から5ｃｍ以上離す。）
絶縁マットの上に乗らないと「ビリッ」とくる恐れ。

治療導子の電極には、必ず専用の粘着パッドを確実に貼り付けて使用する。
やけどや低温やけどを起す恐れ。

治療導子にネックレスなどの金属が触れないようにする。
急激な刺激の原因。

通電シート・絶縁マット・電源コード・治療導子コードは少しでも破れたり傷んだ時は使用しないで、新品に交換する。
ショート、火災、感電の原因。

同一部位の低周波治療は30分以内で使用する。また、連続した同一部位への治療は、5分以上あける。
治療部位の筋肉が疲労し、体調不良を起す恐れ。

電位治療は60分以内で使用する。
事故や体調不良を起こす恐れ。

禁止

絶縁マット・通電シート・通電シートカバーは針やピンなどで突き刺したり、刃物で傷つけたり、他の物にぬいつけたりしない。
故障、漏電、発火の原因。

他の治療器と同時使用や塗布剤(スプレー式等含む)との併用はしない。
気分が悪くなったり、体調不良を起こす恐れ。

電気コタツ、電気毛布、温熱カーペット、介護機器などのコンセントを使用する器具は電源が入っていなくても絶縁マット内で一緒に使用しない。
気分が悪くなったり、体調不良を起したり、痛みを伴う刺激を与えたり、機器の故障や誤操作を招く恐れ。

電源コードの差込口や各出力端子孔など本体内部に燃えやすい物やピン、針金、金属などの異物を入れない。
火災、感電や事故の原因。

治療導子を強く曲げたり、治療導子コード・電源コード・通電シートのコードをねじったり、重いものをのせない。また、治療導子と粘着パッドは水洗いしない。
コードが破損し、火災、感電の原因。

治療導子は心臓近く、頭部、顔、口や陰部、皮膚疾患部などには使用しない。
事故や体調不良を起す恐れ。

使用中に眠らない。
本体が故障する恐れ。
粘着パッドが思わぬ所に貼りついて体調不良を起こす恐れ。

治療導子の粘着パッドの表面が欠けていたり、くずれたままで使用しない。
強い刺激を受けたりする原因。

⚠注意

必ず守る

通電シート・絶縁マット・治療導子は水などで濡れたり、湿ったままで使用しない。
・湿気を帯びると、絶縁効果が低下するばかりか感電、火災の危険性がありますので使用しない。
　また十分に乾燥させてから使用する。
・乾燥は直射日光に当てず、陰干しにする。
・同時にお使いになる布団、毛布、シーツなども乾燥しているものを使う。

⚠注意

使用前や長期間使用しなかった場合は機器の動作・付属品が正常かつ安全に作動することを確認して使用する。
・スイッチや表示灯が正しく作動することを確認して使用する。
・コードや電源プラグのほこりやゴミはふき取り、きれいにして使用する。
・治療導子・通電シート・通電シートカバー・絶縁マットが湿っていたら、乾燥させて使用する。

初めて使用される方は、必ず取扱説明書を読んでから使う。

必ず本器専用の治療導子・コードを使用する。
他の機器の治療導子・コード等を本器に接続すると故障や感電の原因。

電源プラグ、コンセントは根元まで確実に差し込む。またプラグ部が傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。ショート、感電、発火の原因。

リモコンは手元に置き、不測の事態に対応できるように使う。
リモコンは乳幼児の手の届かない場所に保存する。

通電シートや治療導子のプラグは完全に接続されていることを確認し正しく装着して使用する。故障、体調不良を起こす原因。

治療は必ずひとりで、体調に合った時間･出力電圧で使用する。事故や体調不良を起こす恐れ。

貴金属(ネックレスやイヤリングなどのアクセサリー)類や腕時計は、はずして使用する。また通電シートや治療導子に金属類を接触させない。事故やトラブルの原因。

使用しない通電シートや治療導子は、機器に各プラグを接続したり、人体に接触させないこと。予期しない刺激を受けたり、思わぬ事故の原因。

通電シートの上で、二人同時に使用しない。痛みを伴う刺激を受けたり、思わぬ事故の原因。

初めてお使いになる方は、最初から長時間(30分を超える)の使用はしない。
無理なご使用は体調を悪くする原因。

タコ足配線はしない。発熱して火災の原因。

次のような場所での、設置や使用はしない。
1. 浴室などの高温・多湿の場所　2. 湿気やほこりの多い場所　3. 油煙や湯気があたる場所
4. 熱器具の近くや、直射日光のあたる場所
　火災、感電、故障の原因。
5. テレビ・音響機器に近い場所や同じコンセント
　テレビなどの雑音、磁気ディスクに悪影響を与える原因。
6. 不安定な場所
　ぐらついた台の上や傾いた所、段差のある所、高い所などに置きますと倒れたり、落ちたりして思わぬけがの原因。
7. 人の通る所
　通電シートのコードはコードホルダーを使い床面から少し浮かせるので、つまづいてけがをしたり、接続不良を起こして故障の原因。

本器の上に水の入った容器（花瓶、水、お茶等の入ったコップ等）を置かない。
内部に水や異物が入った場合、火災、感電の原因。

本体の上に乗ったり、重い物を乗せない。また、倒すなど強い刺激を与えない。
けがの原因となったり、故障の原因。

ペットには使用しない。
ペットの中には、電気に弱く死亡したり、体調悪化の原因。

通電シートを無理に折り曲げたり、たたんだり、丸めたりして使用しない。
故障の原因。

木床や傷つきやすい床面での引きずっての移動やキャスター移動はしない。
床面が傷つく原因。

安全のために必ずお守りください

ご使用中のご注意

⚠警告

必ず守る

使用中に気分が悪くなったり、身体に異常を感じたときはすぐに使用を中止し、医師に相談して指示に従う。

使用中は他の人に触れたり触れさせせない。また周囲にある金属物に触れない。更に、使用していない人と物の受け渡しをしない。
痛みを伴う刺激を与えることもあり、思わぬ事故の原因。
幼児が近くにきたときは通電を止める。

通電シートや治療導子の接続不良を直すときは、電源スイッチを切る。
痛みを伴う刺激を受け、思わぬ事故の原因。

電位治療は、必ず絶縁マット内で行う。
感電の原因。
痛みを伴う刺激を与えることもあり、思わぬ事故の原因。

禁止

絶縁マットのない状態では、電位治療をしない。
感電や事故の原因。

⚠注意

必ず守る

使用（治療）を中断する場合は、必ず「電源スイッチ」を切る。
感電の原因。

低周波治療器の使用により、発疹、発赤、かゆみ等の症状があらわれた場合には、使用を中止して医師に相談する。

低周波治療の途中で他の部位に治療導子を貼り替える場合は、必ず出力強さを「0」に戻す。
強いショックを受ける恐れ。

低周波治療中、他の人に治療導子を貼り替えない。
強いショックを受ける恐れ。

低周波治療器のヒータを使用する場合は、次のことに注意する。
やけどや低温やけどを起こす恐れ。
1.連続して同一の部位に30分以内で使用する。
2.治療導子をつけたまま部位を押さえつけない。
3.ヒータを 5 分ほどしてもあたたかく感じないときは、すぐに使用を中止する。
4.「熱い」と感じたときは、すぐに治療導子をはずす。
5.治療導子を貼りつけたまま、タオル等を巻きつけたり、毛布や布団の中で使用するなど熱のこもる状態で使用しない。
6.ヒータ使用時に電源「入/切」はしない。

使用中に異常が発生したときは、ただちに使用をやめる。火災、感電の原因となるので、通電を止め「電源スイッチ」を切り電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先または、お客様相談窓口へ相談する。
1. 煙が出たり、変な臭いがするなどの異常事態。
煙が出なくなるのを確認して、ご購入先に修理を依頼する。
2. 内部に異物や水が入ったり、破損した場合。
3. 本体およびプラグやコード類が異常に熱くなった場合。
4. 変な音が鳴ったり、表示灯が消えた場合。
お客様ご自身による修理は危険ですから絶対しない。修理は必ずご購入先に依頼する。

次の場合は、通電を止め「電源スイッチ」を切って、電源プラグをコンセントから抜く。
危害を招く原因。
1.地震などの異常が発生した場合。
2.雷が鳴り出した場合。
3.停電になった場合。

⚠注意

禁止

使用中はプラグ差込口に金属棒などを差し込んだり、プラグの抜き差しはしない。
感電の原因。

「電源スイッチ」を入れた状態で、通電シートを本体の上に乗せない。
故障による事故の原因。

布団や毛布を本体にかぶせて使用しない。
火災や故障の原因。

低周波治療器の強さはむやみに強くし過ぎない。
皮膚を過剰に刺激し、ヒリヒリしたり赤くなる恐れ。

治療導子の粘着パッド部を患部に貼ったまま放置しない。
皮膚のかぶれ、炎症を起す恐れ。

使用中はテレビ・ラジオなどのイヤホーン・ヘッドホーンなどは使用しない。
また、携帯電話・コードレス電話・ワープロ・パソコンなどの電子機器の使用はしない。
故障の原因。

電子機器や磁気・ICカード類を身につけたまま本器を取り扱わない。
腕時計、補聴器など故障やカード類の損傷の原因。

本器の近くで携帯電話を使用しない。
誤動作をする恐れ。

ご使用後のご注意

⚠注意

必ず守る

しばらく使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談する。

ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。

ご使用後は、必ず電源スイッチを切って、プラグ差込口から通電シートのコードを抜く。
思わぬ事故の原因。

本体を移動する場合は、必ずコード類をはずす。
コードが傷んで、火災、感電の原因。

禁止

コード類の取りはずしは、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけない。
また、折り曲げたりしない。
火災、故障の原因。

本体を移動する場合は、異常に温度が高くなる場所や湿気の多い場所に放置しない。
故障や事故の原因。

本体に衝撃を与えない。
故障や事故の原因。

本体を移動する場合は、引きずらない。傷つきやすい床面はキャスター移動もしない。
床が傷つく原因。

ご使用後は、通電シート・絶縁マットは無理に折り曲げたり丸めたりしない。
故障の原因。

安全のために必ずお守りください

お手入れ時のご注意

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td rowspan="4">
必ず守る</td><td>お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く。</td></tr>
<tr><td>汚れは、柔らかい布で軽くふき取る。
ひどく汚れたときは、中性洗剤を水で薄めた液に布を浸し、固く絞ってふき取り、さらに乾いた布で仕上げる。
水滴などが内部に入ると、故障の原因。</td></tr>
<tr><td>化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従う。</td></tr>
<tr><td>通電シート・絶縁マットの乾燥は陰干しにする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">禁止</td><td>ベンジン、シンナー、アルコールなどでふいたりしない。
ひび割れや変質、塗装のはがれの恐れ。</td></tr>
<tr><td>殺虫剤などの揮発性のものは、かけない。
感電、引火の恐れ。</td></tr>
<tr><td>ゴムやビニール製品、新聞紙などは接触させない。</td></tr>
</table>

保存時のご注意

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td rowspan="3">
必ず守る</td><td>電源プラグをコンセントから抜き、本体から電源コードをはずす。
電源プラグを抜くときは、コード部分を持たずに必ず先端のプラグ部分を持って抜く。</td></tr>
<tr><td>本体・付属品は、次回の使用に支障のないように清掃した後、温度・湿度の低い所、直射日光のあたらない所、ほこりや塩分・硫黄分などの悪影響のない所に保管する。
故障、漏電、火災の原因。</td></tr>
<tr><td>犬やネコなどのペットがコードや本体・通電シート・絶縁マットを傷つけないよう気をつける。
故障、漏電の原因。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">
禁止</td><td>水に濡れるおそれのある場所には保存しない。
故障の原因。</td></tr>
<tr><td>油煙や湯気があたる場所には保存しない。
故障の原因。</td></tr>
</table>

特　長

■ 電位治療器と低周波治療器の1台2役。

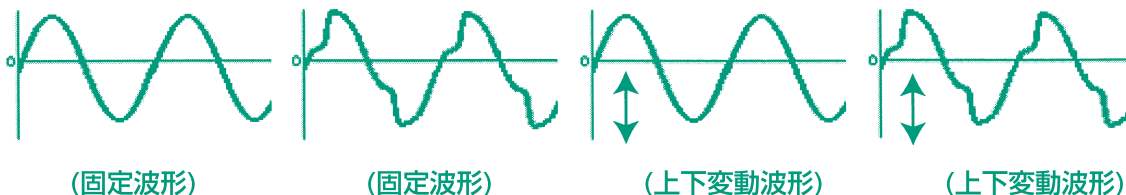
下記の効能・効果があります。

- **電位治療**　頭痛・肩こり
  不眠症及び慢性便秘の緩解
- **低周波治療**　肩こりの緩解・麻痺した筋肉の萎縮の
  予防及びマッサージ効果

■ 電位治療は4種類の出力波形が選べる。

体の慣れを防止する働きがあります。

- A波形
- B波形
- C波形
- D波形

(固定波形)　(固定波形)　(上下変動波形)　(上下変動波形)

■ 低周波治療に「自動コース」機能を搭載。

多彩な「波形」と「速さ」・「極性」をプログラムして、
「肩」「背」「腰」を選択するだけで用途に合せた治療をします。

自動コース

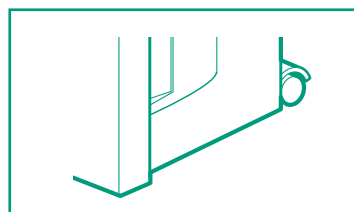
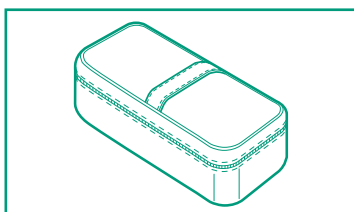
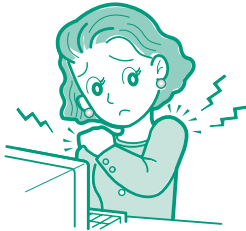
■ 低周波治療の治療導子に予熱・ヒーター機能を搭載。

治療導子を温めて、貼るときの「ヒヤリ」感をなくした
治療ができます。

■ 使いやすい大型液晶表示パネルを採用。

使いかたや、治療導子の貼る位置が容易にわかり、
治療中は出力状態をイメージで表示します。

■ 便利な「収納ポーチ」、「キャスター」つき。

- **収納ポーチ**
  治療導子や粘着パッド及び
  検電器が収納できます。
- **キャスター**
  本体を持ち上げず
  移動できます。

電位治療と低周波治療について

- 電位治療と低周波治療は同時に使用できません。

電位治療とは

電位治療とは、身体に一定量の電位を間接的に与え、頭痛・肩こり・不眠症及び慢性便秘の緩解に作用するものです。

■ 動作原理
身体に有効的な電気エネルギーを与えると高電位から発生する電界が作られます。
この原理を応用したのが電位療法です。

■ 電位治療の効能・効果

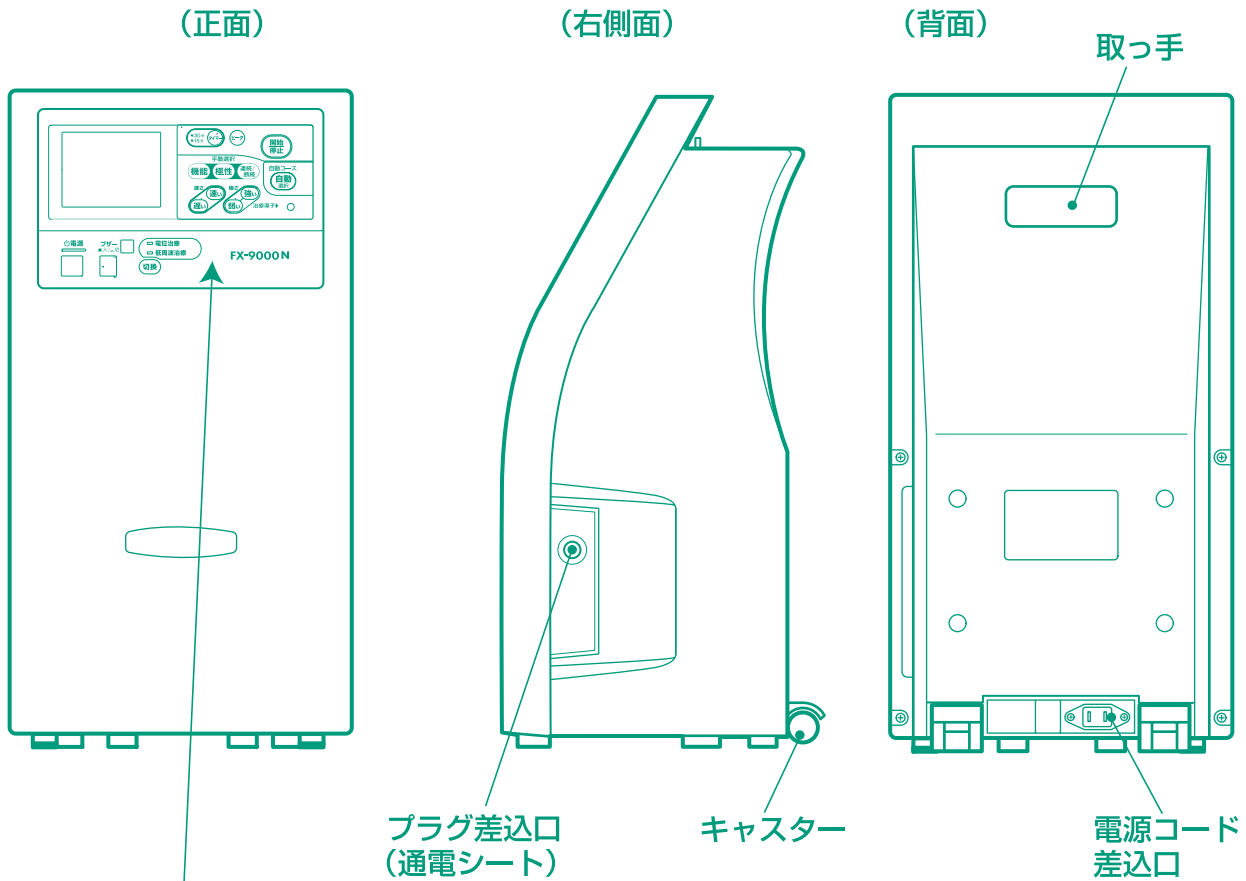
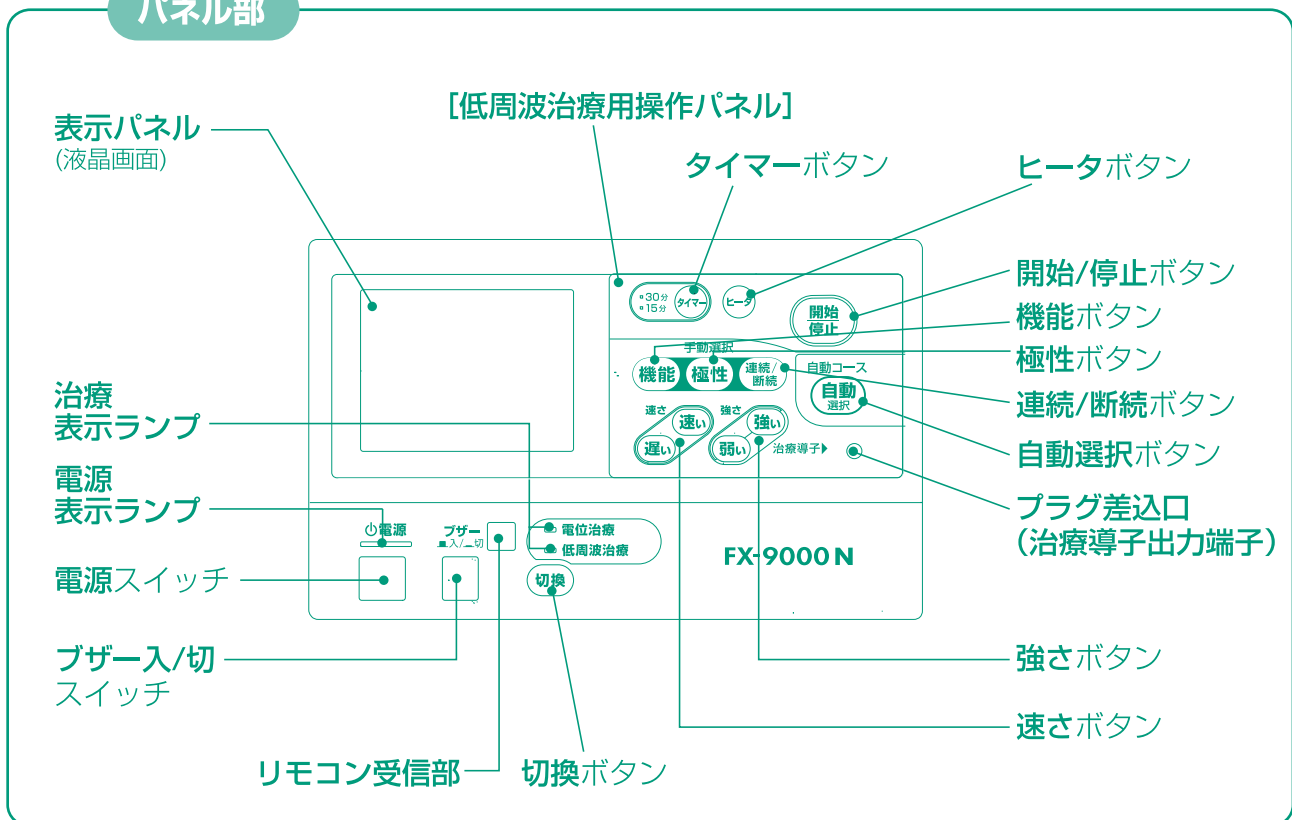
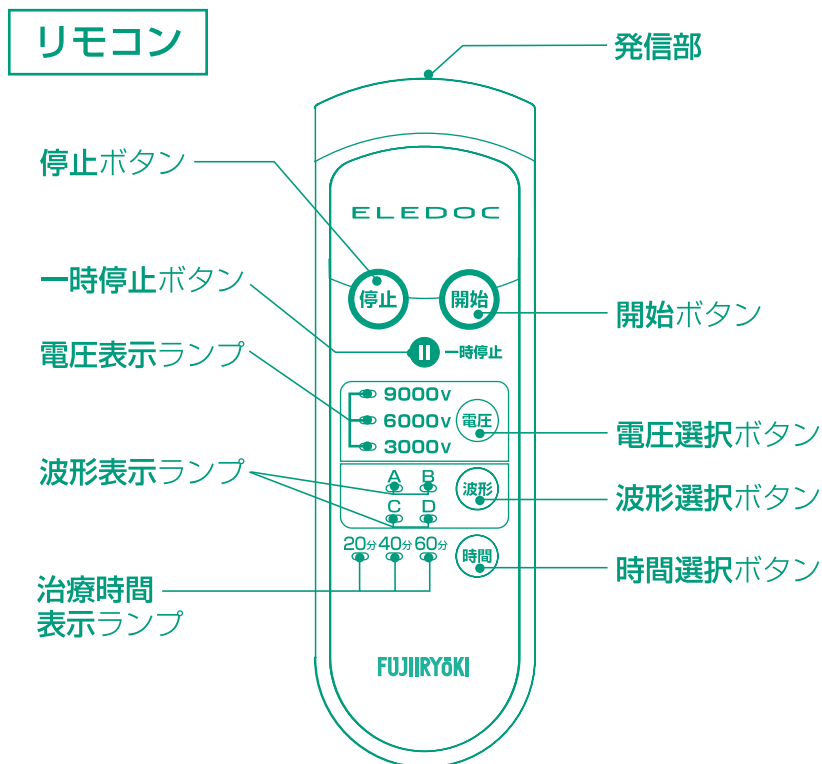
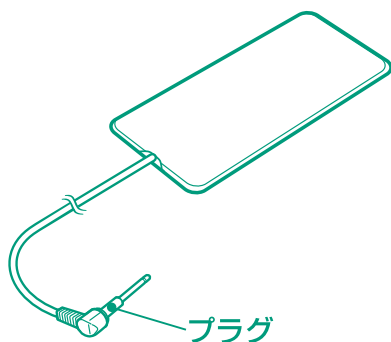
頭痛の緩解	肩こりの緩解	不眠症及び慢性便秘の緩解

低周波治療とは

低周波治療とは、微弱な電流を皮膚の外部から与え、硬化した筋肉をほぐし血行をよくして痛みやこりをやわらげるものです。

■ 動作原理
低周波の微弱電流により筋肉の収縮と緩和をくり返して、血行をよくします。

■ 低周波治療の効能・効果

肩こりの緩解	麻痺した筋肉の萎縮の予防及びマッサージ効果

各部のなまえ

＜本体＞

（正面）
（右側面）
（背面）
取っ手
プラグ差込口
（通電シート）
キャスター
電源コード
差込口
FX-9000N
パネル部
表示パネル
（液晶画面）
[低周波治療用操作パネル]
タイマーボタン
ヒータボタン
開始/停止ボタン
機能ボタン
極性ボタン
連続/断続ボタン
自動選択ボタン
プラグ差込口
（治療導子出力端子）
治療
表示ランプ
電源
表示ランプ
電源スイッチ
ブザー入/切
スイッチ
リモコン受信部
切換ボタン
強さボタン
速さボタン
開始
停止
手動選択
機能
極性
連続/
断続
自動コース
自動
選択
速さ
強さ
速い
遅い
強い
弱い
治療導子
電源
ブザー
電位治療
低周波治療
切換

各部のなまえ

（電位治療器用品）

リモコン

通電シート
（通電シートカバーつき）

プラグ

絶縁マット

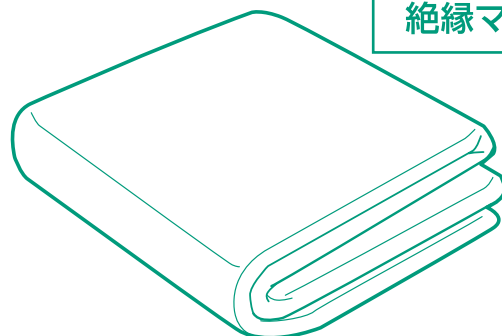
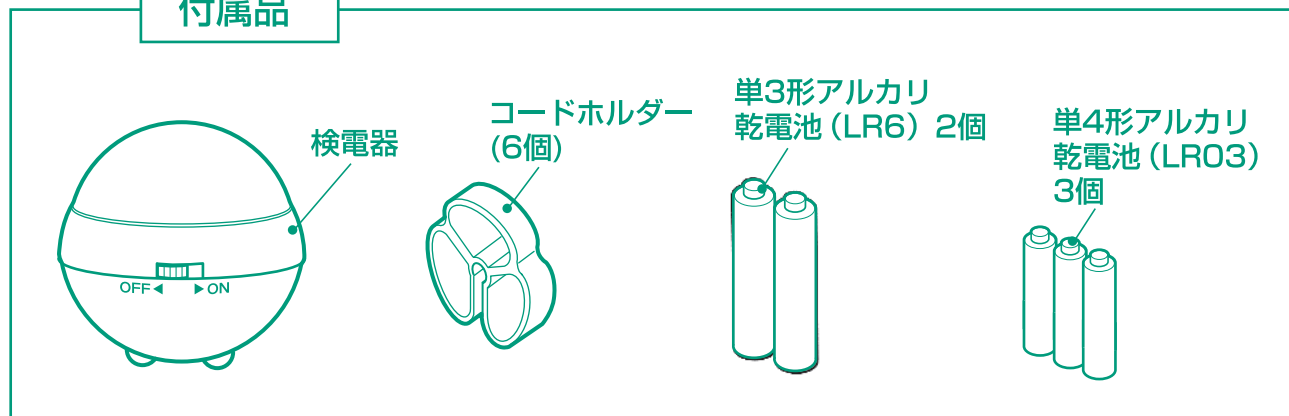
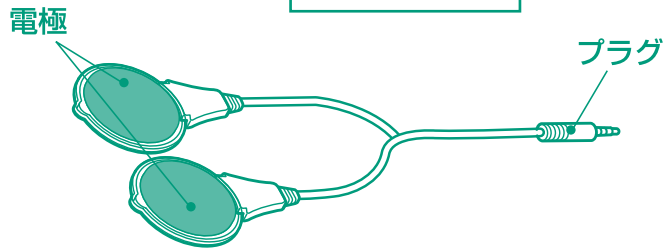
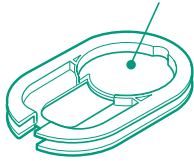
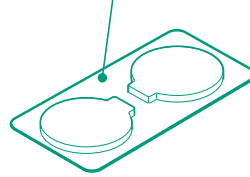
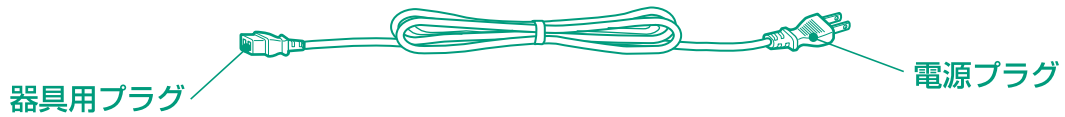
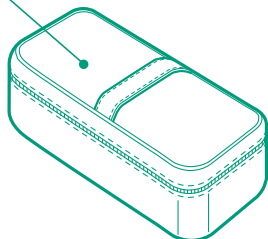
付属品

検電器

OFF◀ ▶ON

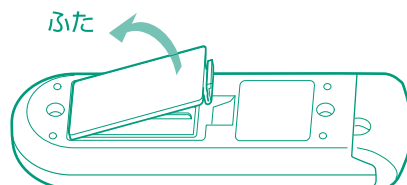
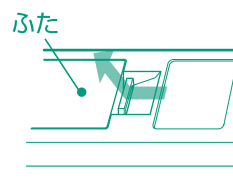
コードホルダー
（6個）

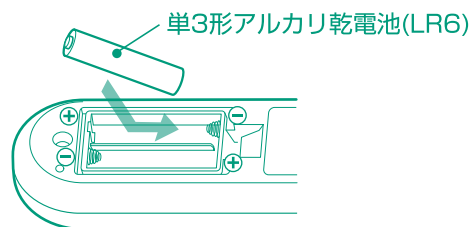
単3形アルカリ
乾電池（LR6）2個

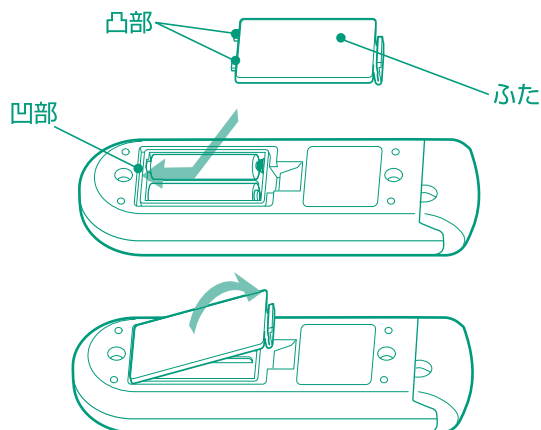
単4形アルカリ
乾電池（LR03）
3個

（低周波治療器用品）

（共通用品）

電位治療器の使いかた

リモコンの乾電池の入れかた

1 ふたを開ける

ふたのつまみを引き上げふたを開けます。

2 乾電池を入れる

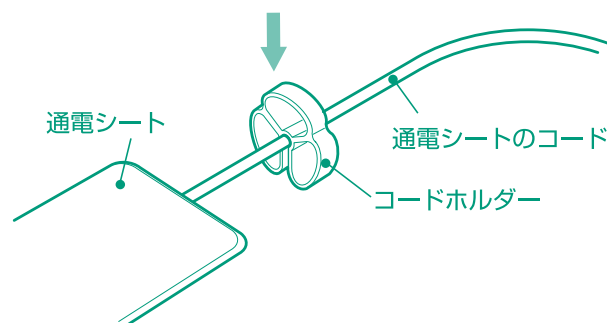
単3形アルカリ乾電池(LR6)2個を表示に合わせ
⊖側から正しく入れます。
乾電池の入れ方を間違えると操作できません。

3 ふたを閉める

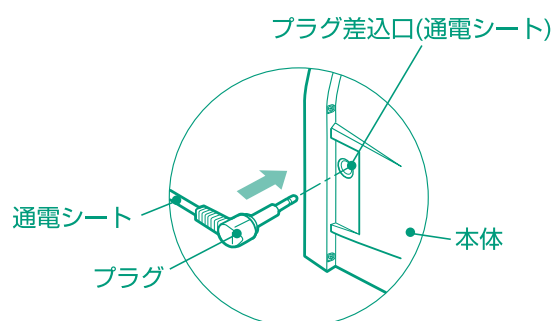
ふたの凸部をリモコンケースの凹部にはめこみ、
ふたを閉めます。
「カチッ」と音がするまでふたを閉めてください。

⚠注意	**落としたり強い衝撃を与えない。**（故障の原因）
	次のことを守らないと乾電池の発熱、液漏れ、破裂によるけがや故障の原因になります。 ・乾電池の使用表示に従って正しく使用する。 ・定期的に点検(液漏れ)する。 ・1か月以上使用しないときは、乾電池を取り出しておく。 ・電池を交換するときは、2個とも同じ種類の新しい乾電池を使用する。

ご使用前の準備

1 本体を倒れないように、水平な場所に置きます。

2 通電シートの準備をします。

① 通電シートのコード数か所にコードホルダーを挿入してコードを床面から浮かします。
(通電シートのコードが床や壁・柱などに触れると「ブーン」という音が発生します。)

3 通電シートを接続します。

本体右側面のプラグ差込口に通電シートのプラグを接続します。
(根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。)

電位治療器の使いかた

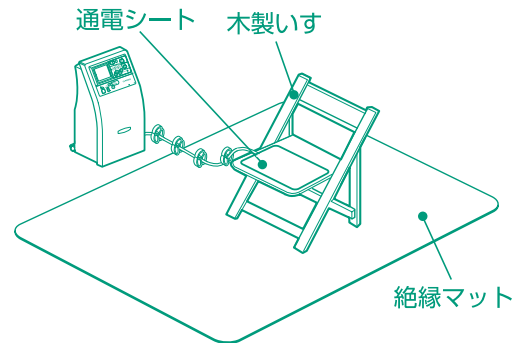
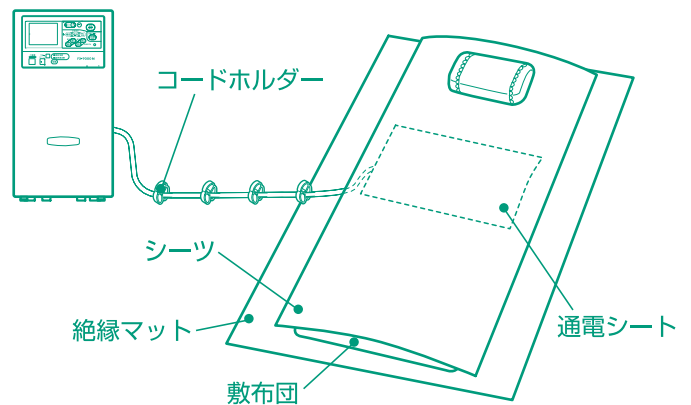
4 絶縁マットを準備します。

絶縁マットは、折りたたまず全部広げて敷きます。

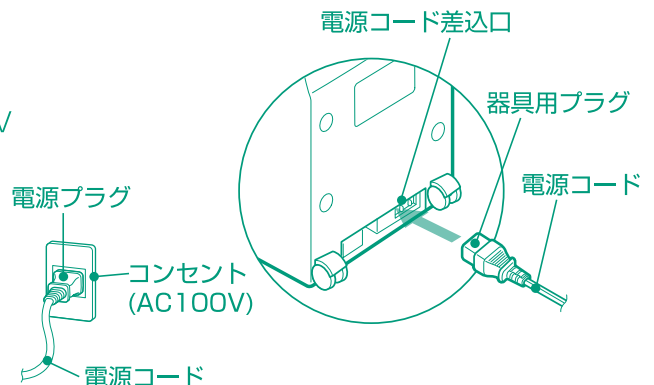
お願い
床に物が何もないことを必ず確認してください。また絶縁マットが破れたり痛んでいないか確認してください。

5 通電シートを準備します。

治療姿勢に合わせ木製いすまたは布団を絶縁マット内に置き通電シートをセットします。

① いすに座って治療を行う場合は、絶縁マットの上に木製いすを置いて、その上に通電シートを広げて置きます。

② 横になって治療を行う場合は、絶縁マットの上にお手持ちの敷布団を敷き、腰のあたりに通電シートを広げて置いてお手持ちのシーツなどを敷きます。

⚠警告	
	絶縁マットのない状態では絶対に使用しない。感電や事故の原因。
	必ず木製のいすを使用する。金属製のいすや金属製のベッドは感電や故障の原因。
	通電シートや木製いすの脚が絶縁マットからでたり、いすの脚で絶縁マットを破ったり傷めないよう注意する。感電や事故の原因。

6 電源コードを接続します。

本体背面の電源コード差込口に電源コードの器具用プラグを接続し、電源プラグをAC100Vコンセントに接続します。
(根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。)

7 ご使用前の準備をします。

① いすに座って治療を行う場合は、準備した通電シートの上に直接座ります。

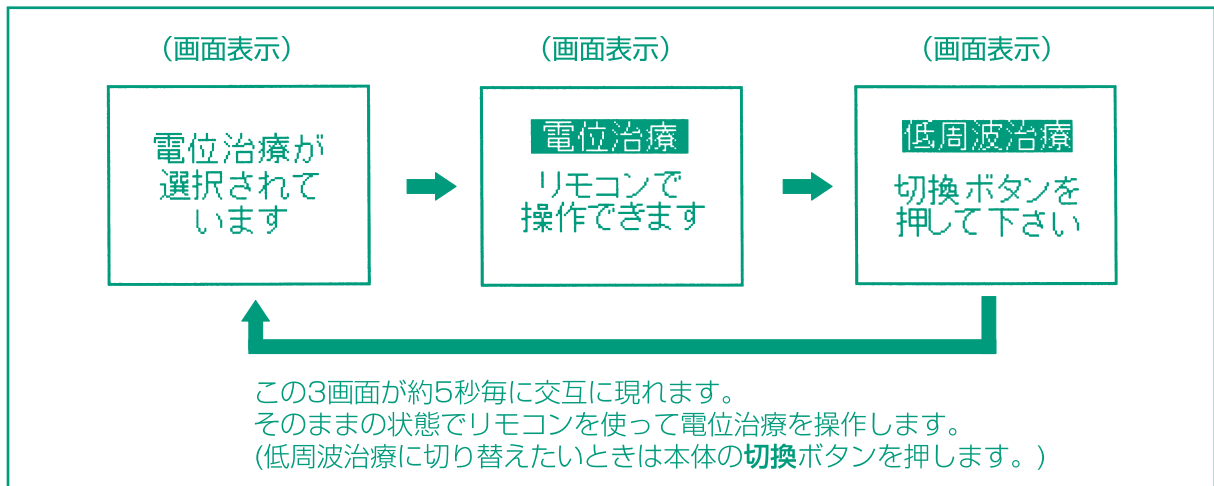
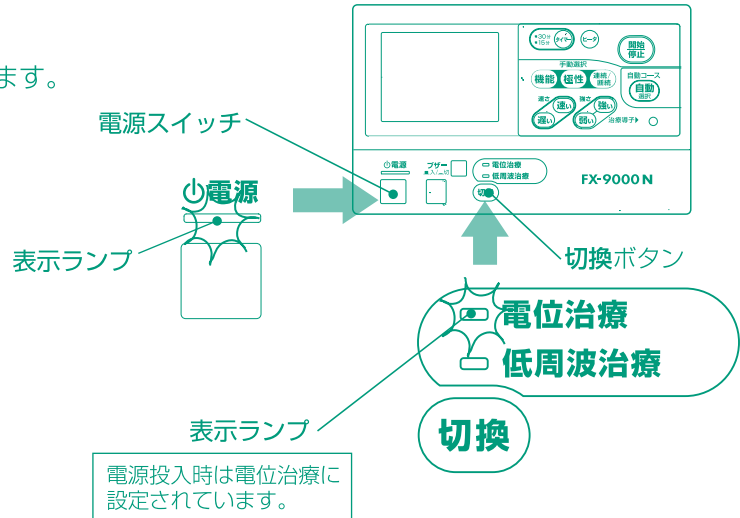
② 横になって治療を行う場合は、準備したシーツなどの上に身体をのせます。

使いかた

操作方法

⚠注意 **通電シートを接続しないで電位治療の操作を行わない。**
事故や故障の原因。

1 電源を入れます。

本体の電源スイッチを押して電源を入れます。
表示パネルが点灯し画面表示がでます。

（パネル部）

電源スイッチ
⏻電源
表示ランプ
切換ボタン
電位治療
低周波治療
切換
表示ランプ

電源投入時は電位治療に設定されています。

（画面表示）
電位＆低周波

「電位治療待機画面」

この3画面が約5秒毎に交互に現れます。
そのままの状態でリモコンを使って電位治療を操作します。
(低周波治療に切り替えたいときは本体の**切換**ボタンを押します。)

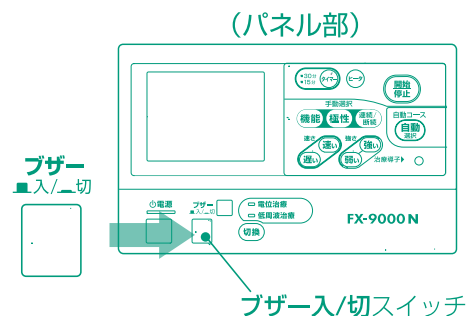
2 治療の終了をブザー音でお知らせします。

- 治療終了時にブザー音を鳴らしたいときは→**ブザー入/切**スイッチを「**入**(凸)」にする。
- 治療終了時にブザー音を消したいときは→**ブザー入/切**スイッチを押して「**切**(凸)」にする。

治療中は、**ブザー入/切**スイッチの操作をしないでください。

（パネル部）

ブザー
■入/＿切

ブザー入/切スイッチ

電位治療器の使いかた

3 リモコンで電位治療を操作します。

(本体のパネル部で電位治療の操作はできません。)

ー　治療の種類　ー

【出力電圧】………3段階（低‥3000V,中‥6000V、高‥9000V)
【出力波】…………4種類（A，B，C，D）
身体に慣れをおこさせないためにお使いいただくものです。電圧の切り替えも同様ですが、同電圧でご使用の場合は目安として１週間ごとに出力波形を切り替えてご使用ください。
【通電時間】………3段階（20分、40分、60分）

- 初めての方は短時間（20分）低電圧（3000V)より始め、体調にあわせて調整してください。
- 通電例

期間	出力電圧	通電時間	出力波形
初日～10日	低(3000V)	20分	目安として、1週間ごとに出力波形の切り替え(A,B,C,D波形)を行ってください。
10日～30日	中(6000V)	40分	
31日～	高(9000V)	60分	

お知らせ

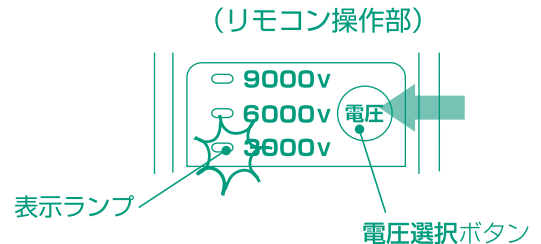
- **「電圧」・「波形」・「時間」**のいずれかのボタンを押すと、初期設定として、電圧：3000V、波形：A、時間：20分が自動的に選択されます。
- **「電圧」・「波形」・「時間」**の選択ボタンを押して、20秒以上放置すると自動的に設定を解除します。また、**停止**ボタン・**一時停止**ボタンを押した場合も同様に解除します。

(1)**電圧選択**ボタンを押して、電圧を選択します。

3000Ｖ，6000Ｖ，9000Ｖの中から選びます。

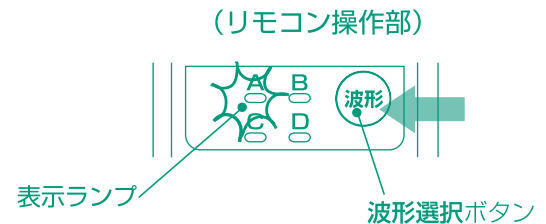
電圧選択ボタンは押すたびに
3000Ｖ→6000Ｖ→9000Ｖ→3000Ｖ
と表示ランプが切り替わります。

※最初は3000Ｖからお始めください。

(リモコン操作部)

(2)**波形選択**ボタンを押して、波形を選択します。

Ａ波形、Ｂ波形、Ｃ波形、Ｄ波形の中から選びます。

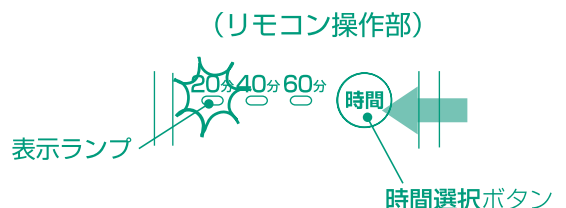
波形選択ボタンは押すたびに
Ａ→Ｂ→Ｃ→Ｄ→Ａ
と表示ランプが切り替わります。

(リモコン操作部)

(3)**時間選択**ボタンを押して、時間を選択します。

20分，40分，60分の中から選びます。

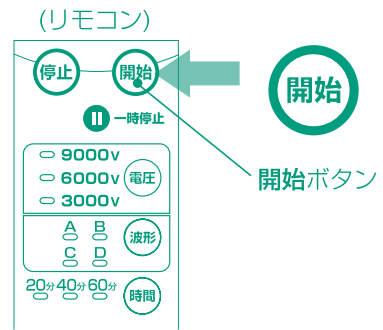
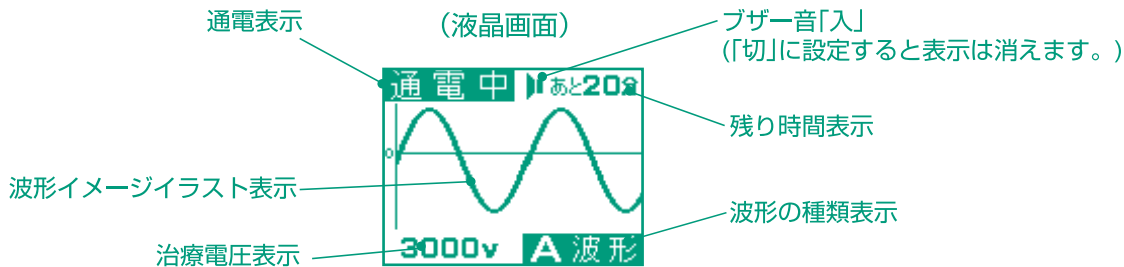
時間選択ボタンは押すたびに
20分→40分→60分→20分
と表示ランプが切り替わります。

(リモコン操作部)

つづく

4 開始ボタンを押して治療を開始します。

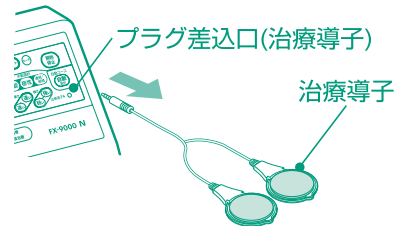
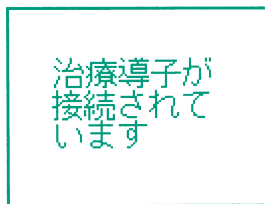
リモコンの発信部を本体の受信部に向けて
開始ボタンを押します。

お知らせ

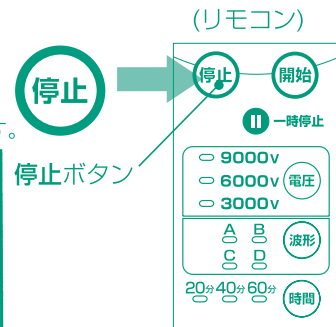
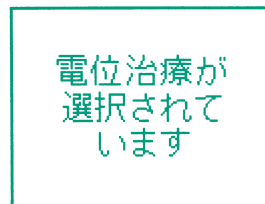
- リモコンの**「電圧」、「波形」、「時間」**の表示ランプは約20秒間点滅後、消灯します。

治療中の電位治療画面表示例

ご注意

- 本体のプラグ差込口に治療導子が差し込まれていると、リモコンの**開始**ボタンを押しても、電位治療は開始しません。（下の画面が表示されます。）
電位治療を行うときは、治療導子出力端子から、治療導子のプラグを抜いてください。

（画面表示）

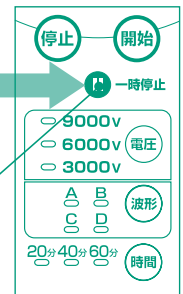
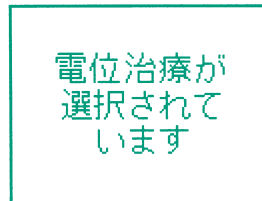
治療導子が
接続されて
います

5 通電時間が終了すると、ブザー音が鳴り治療が終了します。

(**ブザー入/切**スイッチで終了時のブザー音を消すことができます。)

- 治療の途中で**停止**ボタンを押しても終了できます。

使いかた

電位治療器の使いかた

6 治療の途中で**一時停止**ボタンを押すと治療が一時停止します。

再度**一時停止**ボタンを押すと一時停止機能は解除されます。
（残り時間の治療が再開されます）
● 一時停止中は、タイマーは停止したままです。

一時停止状態が5分間続くと、待機画面に戻ります。

（再度、治療を始めたい場合は、前述3項から操作をやり直してください。）

ご注意

● 出力電圧・出力波形・通電時間は使用中には変更できません。
変更する場合は、**停止**ボタンを押し、前述3項から操作をやり直してください。

お知らせ

● **リモコン操作部のボタンの操作音**
受け入れた場合は「ピッ」と単音で鳴ります。
受け入れできない場合は「ピピピッ」と連続音で警告します。

⚠警告	
	使用中は他の人に触れたり触れさせない。また周囲にある金属物に触れない。更に、使用していない人と物の受け渡しをしない。 痛みを伴う刺激を与えることもあり、思わぬ事故の原因。 幼児が近くにきたときは通電を止める。
	電位治療は、必ず絶縁マット内で行う。 感電の原因。 痛みを伴う刺激を与えることもあり、思わぬ事故の原因。

電位治療器用検電器について

電位治療器用検電器は、身体が高圧電界におかれているかどうかを確認するためにご使用ください。

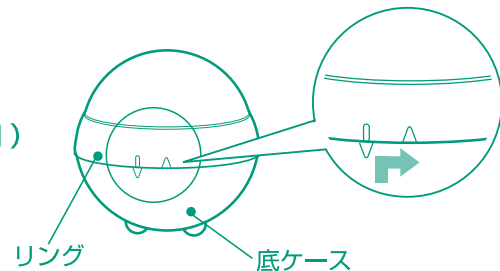
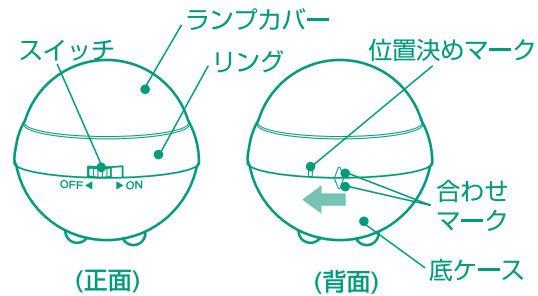
使用方法

スイッチ
ランプカバー
リング
位置決めマーク
合わせマーク
底ケース
（正面）
（背面）

1 乾電池の入れ方

(1) 底ケースを矢印方向に回して本体から取りはずします。

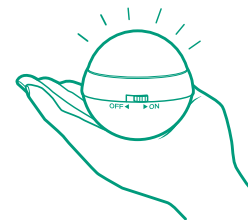
(2) 単4形アルカリ乾電池（LR03）3個を本体の表示に合わせて正しく入れます。
乾電池の入れ方を間違えると動作しません。

(3) 底ケースの合わせマーク（▽）と位置決めマーク（▯）を合わせて取り付け、リングの合わせマーク（△）と合うまで底ケースを回します。

2 スイッチを「ON」にします。

3 本体を持って電位を検知します。

ご注意
ランプカバーに触れると検知できません。

(1) 治療をしている人が検電器の底ケース部を手のひらに乗せて体から離すと検知します。

(2) 治療をしていない人が検電器のリング部を持って治療をしている人の身体に近づけると検知します。

4 電位の発生を検知しますと、ランプが点灯して電子音でお知らせします。

5 スイッチ「OFF」にします。

- ご使用後は、必ずスイッチを「OFF」にしてください。
「ON」のまま放置しますと、乾電池が消耗して液漏れの原因になります。
- パソコン、テレビ等の電気製品のそばで使用した場合や静電気などが帯電してるものに近づけても電位を検知することが ありますが、故障ではありません。
- 天候や環境、使用状態などにより、検電器のランプがつきにくくなったり、電子音が鳴りにくくなったりしますが、故障ではありません。

⚠注意	**落としたり強い衝撃を与えない。**故障の原因。
	次のことを守らないと乾電池の発熱、液漏れ、破裂によるけがや故障の原因になります。 ・乾電池の使用表示に従って正しく使用する。 ・定期的に点検(液漏れ)する。 ・1か月以上使用しないときは、乾電池を取り出しておく。 ・電池を交換するときは、3個とも同じ種類の新しい乾電池を使用する。

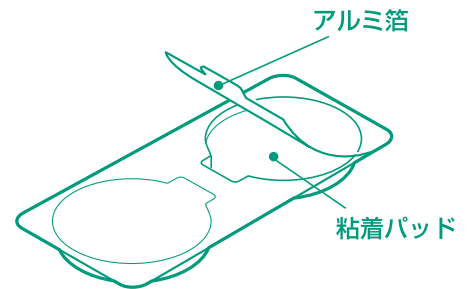
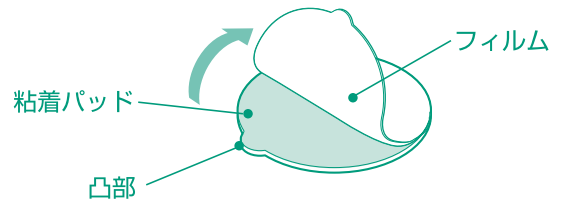
低周波治療器の使いかた

ご使用前の準備

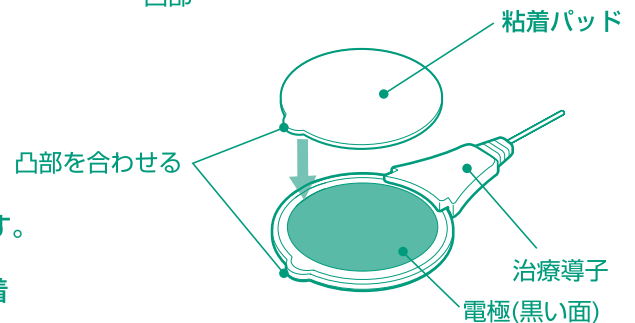
1 本体を倒れないように、水平な場所に置きます。

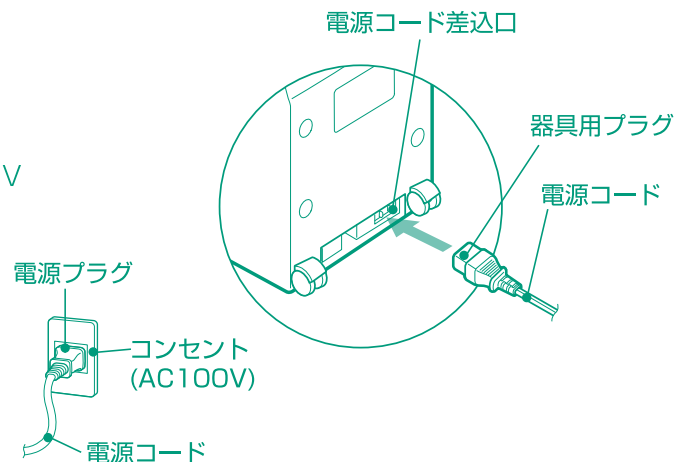
2 粘着パッドを治療導子の電極に貼りつけます。

(1)初めてお使いの場合

①付属の粘着パッドをパックの中から2枚取り出します。（1パックの内側に2枚入っています）

②粘着パッドは裏表どちらのフィルムをはがして使用されても同じです。
粘着パッドのフィルムを凸部側から剥がして治療導子の電極（黒い面）に凸部の形を合わせて貼りつけます。

(2)粘着パッドを交換する場合

①治療導子の電極から粘着パッドを剥がします。

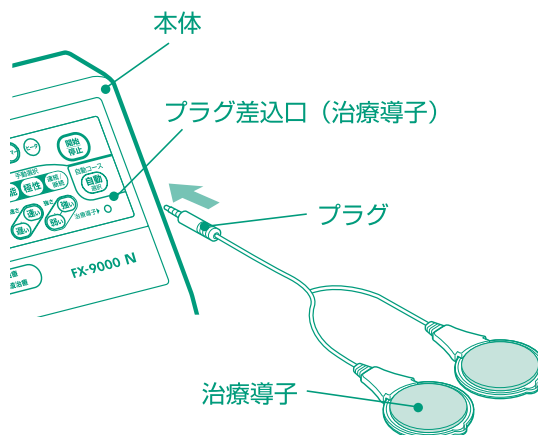
②前述(1)項の ① ～ ② の要領で新しい粘着パッドを貼りつけます

3 電源コードを接続します。

本体背面の電源コード差込口に電源コードの器具用プラグを接続し、電源プラグをAC100Vコンセントに差し込みます。
（根元まで確実に、差し込まれていることを確認してください。）

お願い

- 低周波治療中は、プラグ差込口(通電シート)から通電シートをはずしてください。

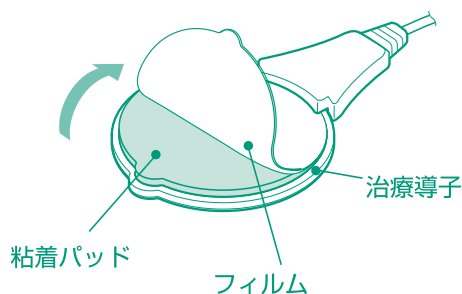
つづく

4 治療導子を接続します。

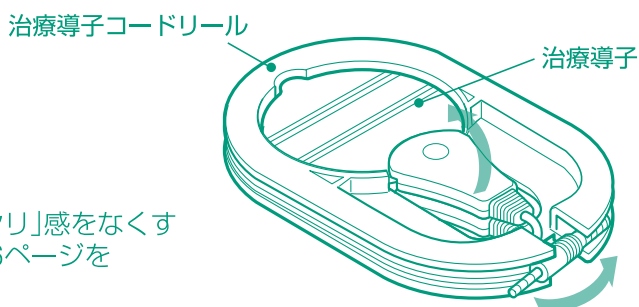
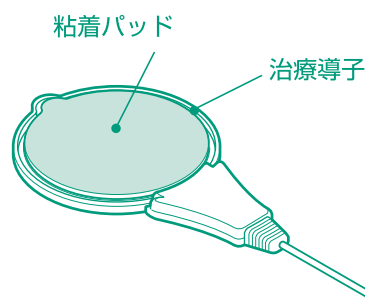
本体正面のプラグ差込口に治療導子のプラグを差込みます。
(根元まで確実に差込まれていることを確認してください。)

5 身体に治療導子の粘着パッド面を貼ります。

(1) 初めてお使いの場合は、粘着パッドのフィルムを剥がして、身体に貼ります。

(2) すでにお使いの場合は、治療導子を治療導子コードリールからはずして、身体に貼ります。

- 治療導子に貼りつけた粘着パッドが剥がれないようにゆっくりとはずしてください。

(3) 貼りつける位置は、26ページの「治療導子の貼りつけ例」を参照ください。

- 自動コースを選択されますと、表示パネルで貼りつけ位置を説明します。

治療導子コードリール

治療導子

お知らせ

- 本器には身体に治療導子を貼りつけるときの「ヒヤリ」感をなくす予熱機能がついています。治療導子を貼る前に36ページを参照してください。

- 粘着パッドの表面に油分や汗がつくと粘着力が低下します。必ずお肌の汚れや汗などをふき取ってからお使いください。
- 粘着力が低下したら、43ページの「お手入れ方法」に従いお手入れしてください。
- お風呂あがりなど体が濡れているときは、粘着パッドを貼り付ける部分の水分をふき取ってください。
- 粘着パッドはなるべく指で触れないようにしてください。
- 粘着パッド同士をくっつけないでください。
- 粘着パッドは水洗いしないでください。（43ページお手入れ方法をご覧ください。）

治療導子のコードを引っ張ったり、折り曲げたりしない。
治療導子が濡れている場合は使用しない。また治療導子と粘着パッドは水洗いしない。火災、感電、故障の原因。

治療導子のコードおよびプラグ部が傷んでいるときは使用しない。
ショート、感電、発火の原因。

低周波治療器の使いかた

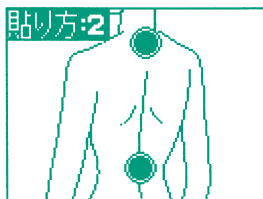
治療導子の貼りつけ例

「肩」の治療

肩こり治療の場合は、肩こりのある部位に背骨を中心に左右対称に貼るのがおすすめです。

使いかた

「背」の治療

「腰」の治療

腰治療の場合は、痛みのある部位に背骨を中心に左右対称に貼るのがおすすめです。

お知らせ

- 本器の低周波治療機能には、人体検知機能が採用してあります。
  治療導子を片側づつ2人同時に使用できない構造になっていますので、必ずお1人でご使用ください。

つづく

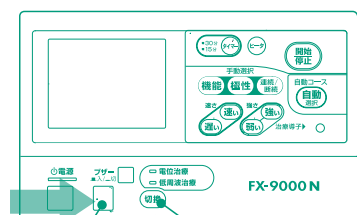
自動コースの使いかた

1 電源を入れます。

本体の**電源**スイッチを押して電源を入れます。
表示パネルが点灯し画面表示がでます。

2 治療の終了をブザー音でお知らせします。

- 治療終了時にブザー音を鳴らしたいときは→**ブザー入/切**スイッチを「**入**(凸)」にする。
- 治療終了時にブザー音を消したいときは→**ブザー入/切**スイッチを押して「**切**(凸)」にする。

治療中は、**ブザー入/切**スイッチの操作をしないでください。

3 低周波治療の操作に切り替えます。

本体の**切換**ボタンを押して低周波治療に
切り替えます。

「低周波治療待機画面」

低周波治療器の使いかた

4 本体の操作パネルの自動選択ボタンで「自動コース」を選びます。

（操作パネル）

自動選択ボタン

（1）自動選択ボタンを押します。

- 「肩」「背」「腰」の中からお好みのコースを選びます。
- 自動選択ボタンは押すたびに肩→背→腰→肩とコースが替わります。

ご注意
- 約3秒間、自動選択ボタンを押さないでいますと、自動的に動作モードが決定します。

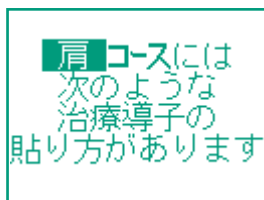
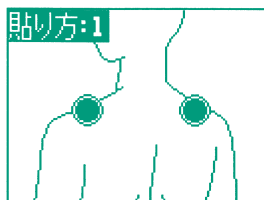
（画面表示）

（2）治療導子の貼り方を確認します。

①液晶表示部に治療導子の貼り方が順次表示されます。

②必要に応じて治療導子を貼り替えてください。

③液晶画面は自動的に切り替わります。

④貼り方の画面表示をもう一度見たいときは、
再度自動選択ボタンを押してください。

自動コース

自動選択ボタン

（画面表示）

（画面表示）

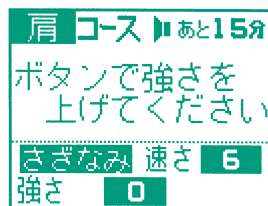
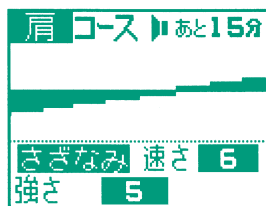
（画面表示）

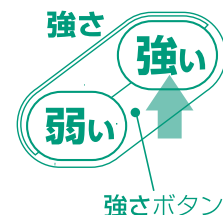
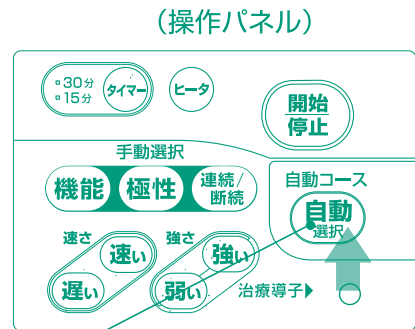
5 開始/停止ボタンを押して、治療を開始します。

- 強さボタンの「強い」を操作しないと治療ができません。

（画面表示）

（画面表示）

開始/停止ボタン

（1）強さボタンの「強い」を押してお好みの強さに調節します。

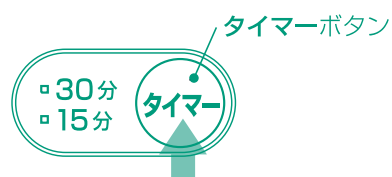
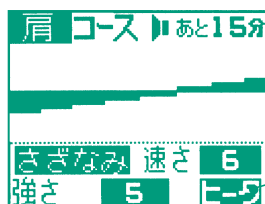
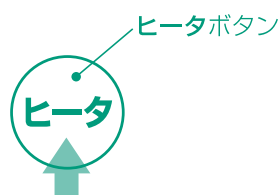
急激な刺激を受けないように強さはゼロからのスタートです。
ご使用の都度、強さを調節してください。

強さボタン

(2) タイマーボタン**を押すと治療時間の切り替えができます。**
治療時間は通常15分に設定されていますので30分に切り替える場合は、
タイマーボタンを押して切り替えてください。
(治療の途中で15分から30分に時間を切り替えても、治療時間は開始から30分の時点で停止します。)

(画面表示)

治療時間を
30分に
設定しました

タイマーボタン

▫30分
▫15分
タイマー

(3) ヒータボタン**を押すと治療導子を温めます。**
低周波治療中に**ヒータ**ボタンを押すと、表示パネルに「ヒータ」の文字が表示され、
治療導子が温かくなります。再度**ヒータ**ボタンを押すと、ヒータは解除されます。
(表示パネルの「ヒータ」表示も消えます。)

ご注意
●「連続/断続」、「速さ」、「極性」は、自動的にプログラムされていますので操作できません。

⚠ 注意	**強さ調整はむやみに強くし過ぎない。** 皮膚を過剰に刺激し、ヒリヒリしたり、赤くなることがあります。

使いかた

治療中の自動コース画面表示例

低周波治療器の使いかた

6 治療時間が終了すると、ブザー音が鳴り治療が終了します。

(**ブザー入/切**スイッチで終了時のブザー音を消すことができます。)

● 治療の途中で**開始/停止**ボタンを押しても終了できます。

使いかた

手動選択コースの使いかた

1 電源を入れます。

本体の**電源**スイッチを押して電源を入れます。
表示パネルが点灯し画面表示がでます。

（画面表示）

2 治療の終了をブザー音でお知らせします。

- 治療終了時にブザー音を鳴らしたいときは→**ブザー入/切**スイッチを「**入**(凸)」にする。
- 治療終了時にブザー音を消したいときは→**ブザー入/切**スイッチを押して「**切**(凸)」にする。

治療中は、**ブザー入/切**スイッチの操作をしないでください。

（パネル部）

3 低周波治療の操作に切り替えます。

本体の**切換**ボタンを押して低周波治療に
切り替えます。

「低周波治療待機画面」

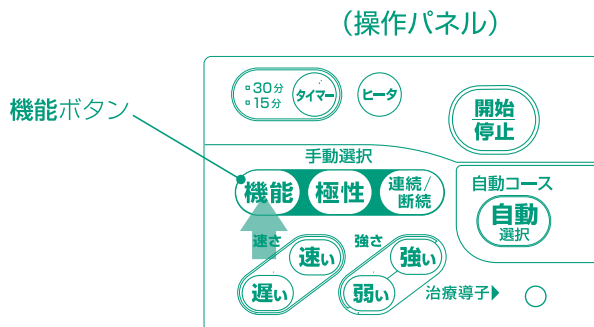
この３画面が約5秒毎に交互に現れます。
そのままの状態で本体操作パネルのボタンを使って低周波治療を操作します。
電位治療に切り替えたいときは本体の**切換**ボタンを押します。

低周波治療器の使いかた

4 本体の操作パネルの機能ボタンで「手動選択」を選びます。

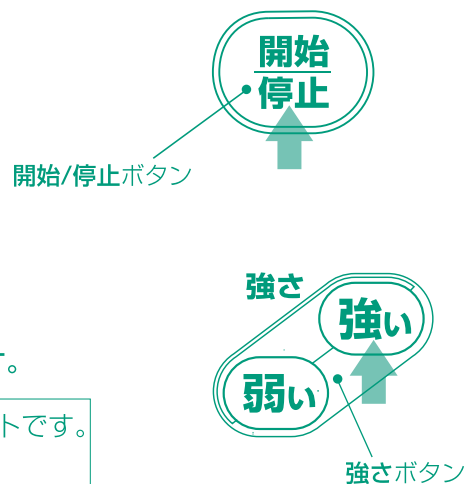
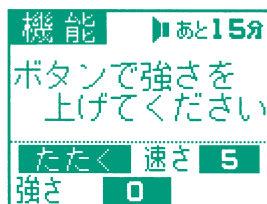
(操作パネル)

(1)機能ボタンを押します。

機能ボタンは押すたびに
「たたく」→「もむ」→「おす」→「バイブ」→
「さざなみ」→「うねり」→「たたく」
と動作モードが替わります。

ご注意
- 約3秒間、**機能**ボタンを押さないでいますと、自動的に動作モードが決定します。

(2)治療導子を貼りつけます。

5 開始/停止ボタンを押して、治療を開始します。

- **強さ**ボタンの**「強い」**を操作しないと治療ができません。

(1)強さボタンの「強い」を押して、お好みの強さに調節します。

急激な刺激を受けないように強さはゼロからのスタートです。
ご使用の都度、強さを調節してください。

(2)速さボタンを押して、お好みの速さに調整します。
通常は、10段階の5に設定されています。

速さ
速い
遅い
速さボタン

(3)タイマーボタンを押すと治療時間の切り替えができます。
治療時間は通常15分に設定されていますので30分に切り替える場合は、
タイマーボタンを押して切り替えてください。
(治療の途中で15分から30分に時間を切り替えても、治療時間は開始から30分の時点で停止します。)

(画面表示)

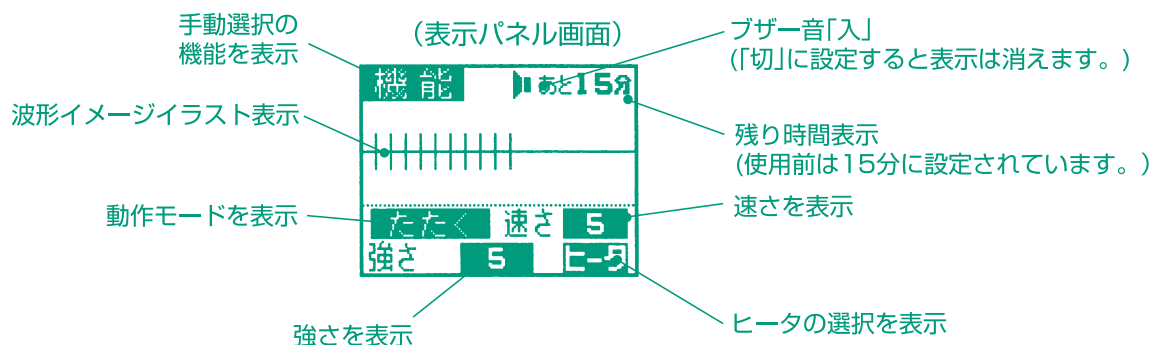
使いかた

つづく

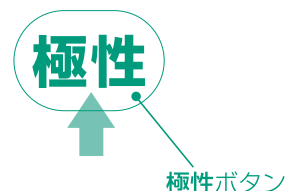
(4) 使用途中でも機能ボタン**を押すと、動作モード の切り替えができます。**

- 出力の強さはソフトスタート機能により段階的に切り替え前の強さになります。

(5) ヒータボタン**を押すと治療導子を温めます。**
低周波治療中に**ヒータ**ボタンを押すと、表示パネルに「ヒータ」の文字が表示され、治療導子が温かくなります。再度**ヒータ**ボタンを押すと、ヒータは解除されます。（表示パネルの「ヒータ」表示も消えます。）

⚠ 注意	**強さ調整はむやみに強くし過ぎない。** 皮膚を過剰に刺激し、ヒリヒリしたり、赤くなることがあります。

(6) 使用途中に極性ボタン**を押すと、極性 の切り替えができます。**

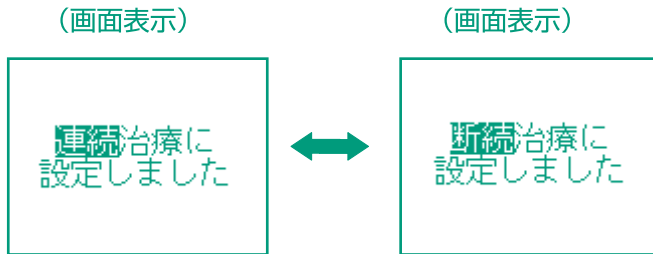
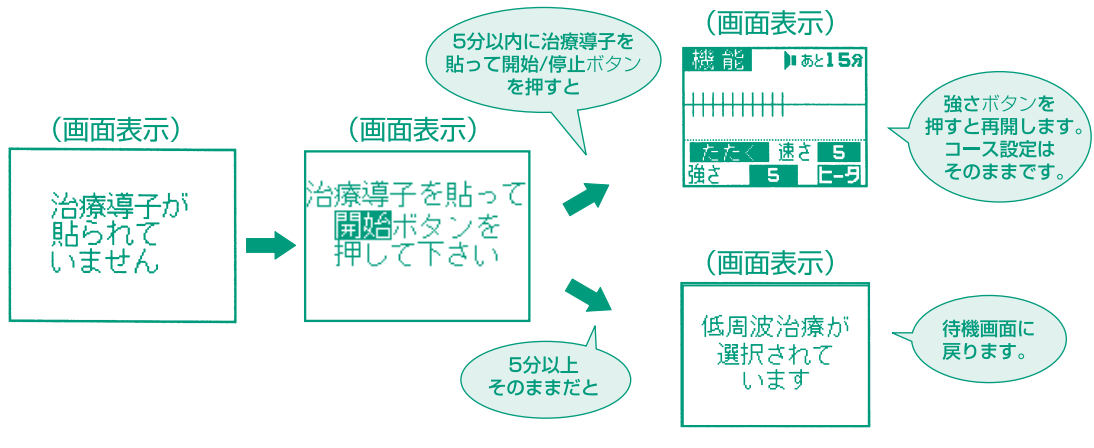
「交互」→「同時」→「交互」の順に極性の種類が切り替わります。

- 通常は「交互」に設定されています。
- 約3秒間、**極性**ボタンを押さないでいますと、自動的に表示の極性に替わります。

極性の種類

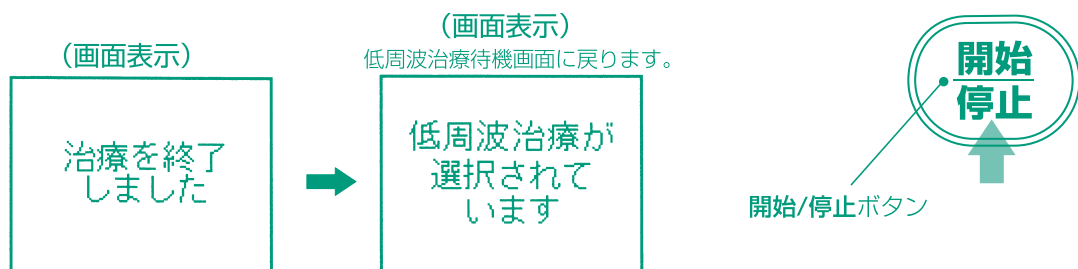
- 交互……交互に強く感じます。
- 同時……両方同時に強く感じます。

低周波治療器の使いかた

(7) **使用中に連続/断続**ボタン**を押すたびに「連続」と「断続」が切り替わります。**

- 通常は「連続」に設定されています。
- **連続/断続**ボタンを押して約3秒後に自動的に表示の設定に替わります。

- 治療中に治療導子を剥がしたり、剥がれたりすると約5秒間で下の画面が表示され、治療が終了します。
  治療導子を貼りなおし、**開始/停止**ボタンを押して治療をはじめてください。
  (再度**開始/停止**ボタンを押すと治療が再開しますが、コースは前の動作モードのままです。)
  タイマーは15分からのスタートになります。強さボタン**を押して、お好みの強さにもう一度調節してください。**
  (何もしない状態が5分以上続くと、治療が終了し待機画面にもどります。)

6 治療時間が終了すると、ブザー音が鳴り治療が終了します。

(**ブザー入/切**スイッチで終了時のブザー音を消すことができます。)

- 治療の途中で**開始/停止**ボタンを押しても終了できます。

予熱機能とヒータ単独機能の使いかた

1 主電源を入れます。

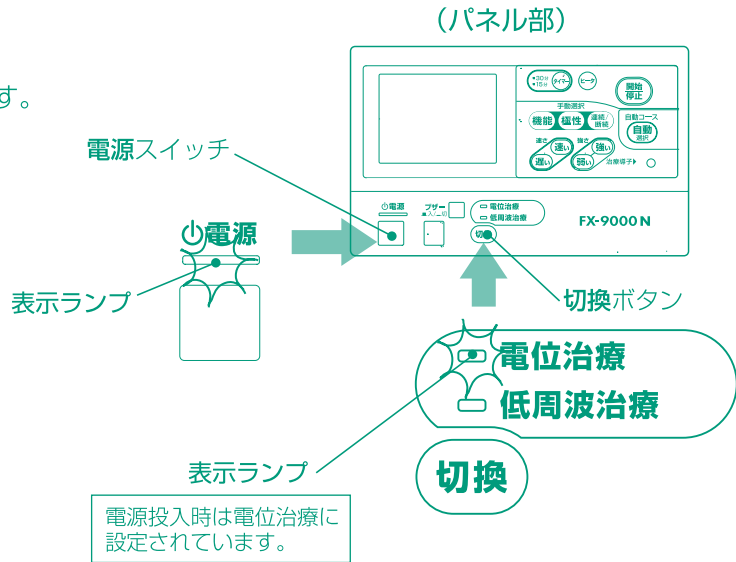
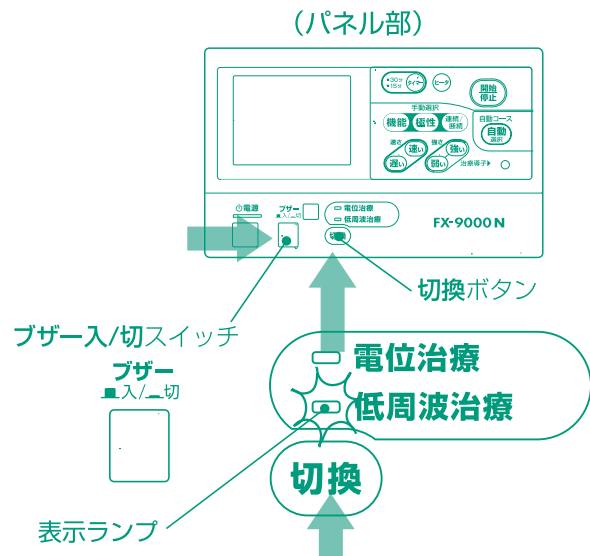
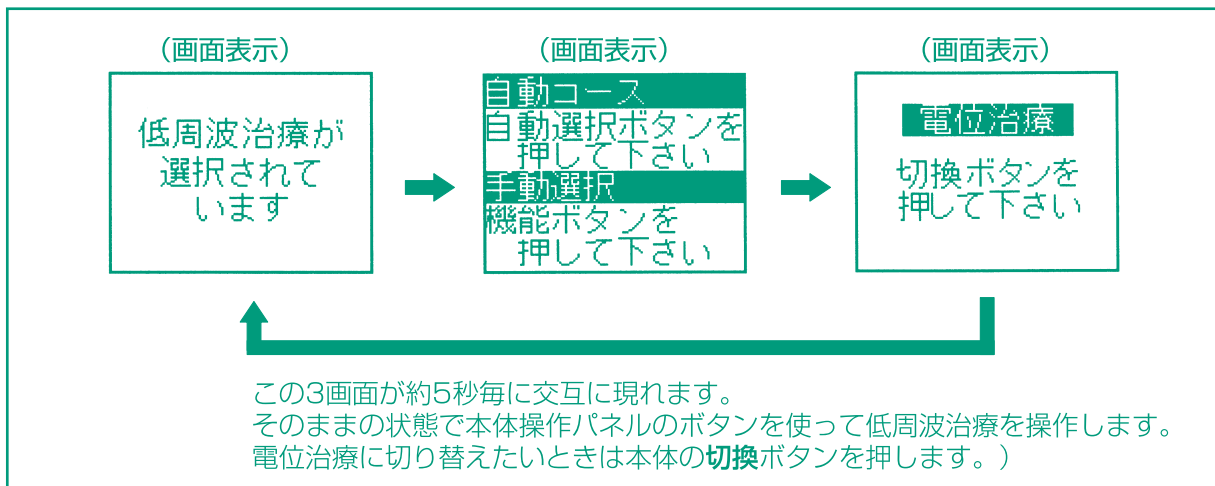
本体の**電源**スイッチを押して電源を入れます。
表示パネルが点灯し画面表示がでます。

（画面表示）

2 低周波治療の操作に切り替えます。

本体の**切換**ボタンを押して低周波治療に
切り替えます。

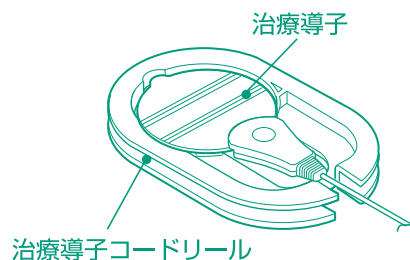
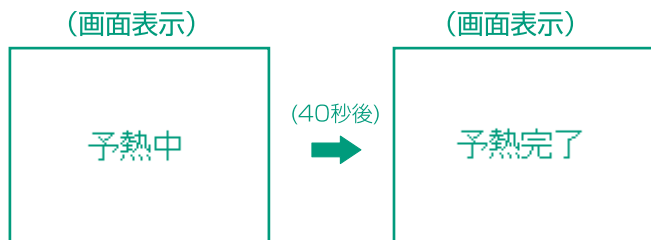
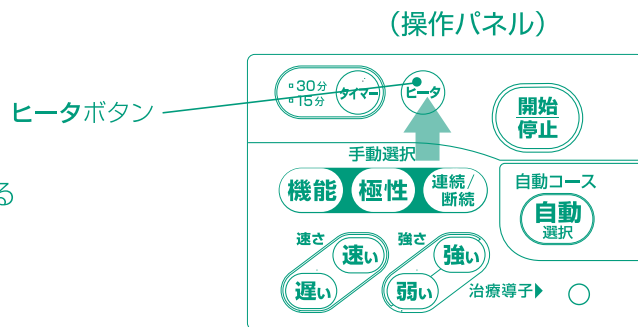
「低周波治療待機画面」

この3画面が約5秒毎に交互に現れます。
そのままの状態で本体操作パネルのボタンを使って低周波治療を操作します。
電位治療に切り替えたいときは本体の**切換**ボタンを押します。）

使いかた

低周波治療器の使いかた

予熱機能の操作方法

1 **ヒータ**ボタンを**押します。**

- 身体に治療導子を貼りつける前にあたためることができます。

粘着パッドを治療導子コードリールに取りつけた状態で予熱できます。

「予熱完了」状態が5分間続くと待機画面に戻ります。

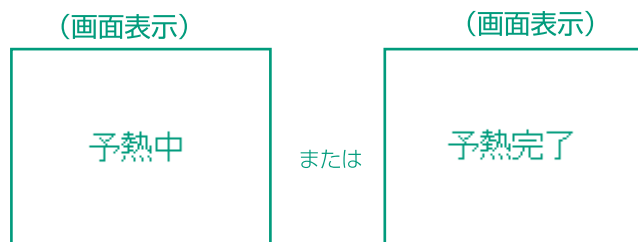
予熱は約40秒間行います。40秒を過ぎると予熱を完了します。
また、予熱は身体に治療導子を貼った時点で終了します。

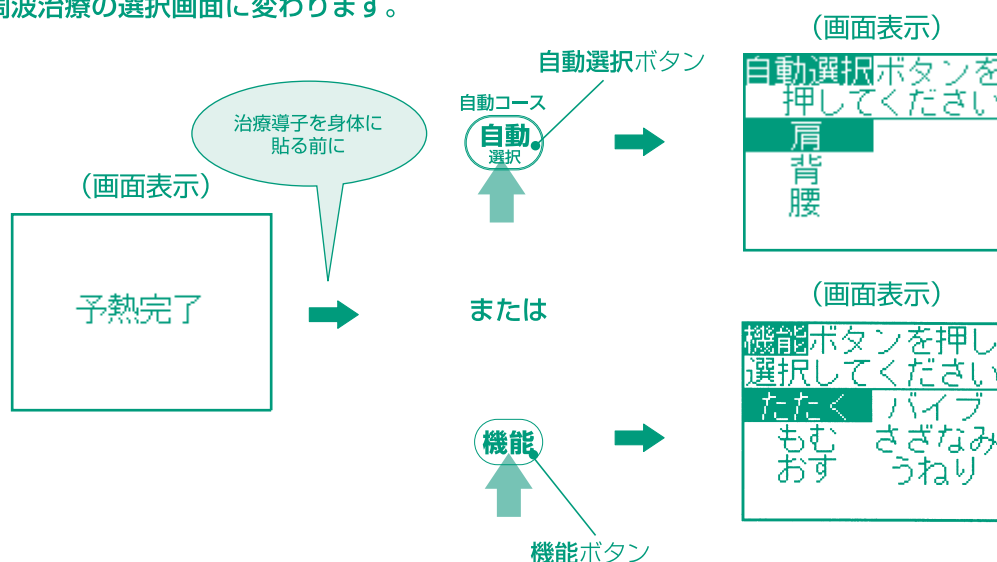
■ **予熱中または予熱完了後後つづけて、身体に治療導子を貼って「あたため」または、「低周波治療」を行います。(身体に治療導子を貼るときの「ヒヤリ」感をなくすことができます。)**

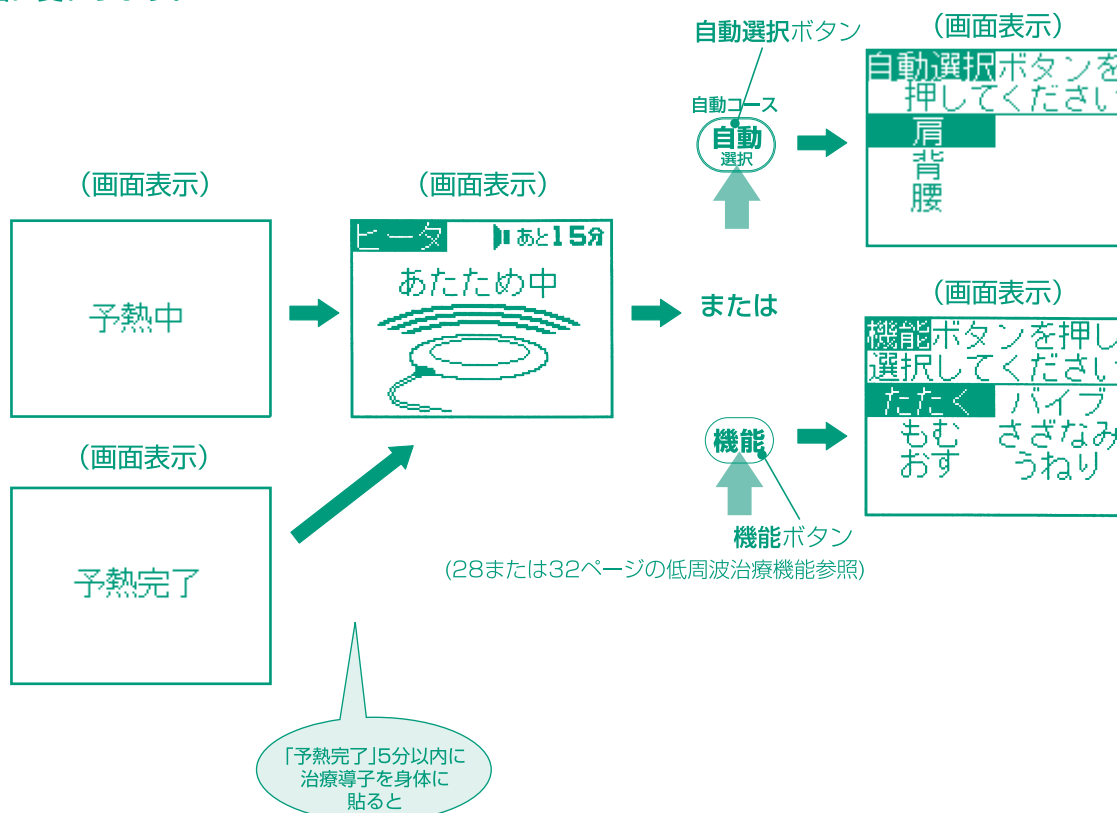
2 **つづけてあたためる場合。**

- **予熱中または予熱完了後(5分以内)に治療導子を身体に貼ると自動的に「あたため(ヒータ単独機能)」に変わります。**

(38ページのヒータ単独機能参照)

使いかた

3 つづけて低周波治療を行う場合。

(1) 予熱完了後、治療導子を身体に貼る前に自動選択ボタンまたは、機能ボタンを押すと、低周波治療の選択画面に変わります。

(2) 予熱中または予熱完了後、5分以内に治療導子を身体に貼ると「あたため(ヒータ単独機能)」に自動的に変わりますが、その後に自動選択ボタンまたは機能ボタンを押すと、低周波治療の選択画面に変わります。

(28または32ページの低周波治療機能参照)

使いかた

低周波治療器の使いかた

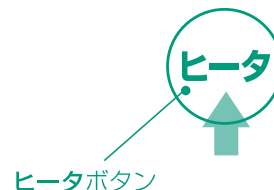
ヒータ単独機能の操作方法

1 身体に治療導子を貼ります。

- 身体に治療導子を貼っておかないと、予熱機能になり「予熱中」の画面表示になります。
  26ページの「治療導子の貼り方例」を参照ください。

2 ヒータボタンを押します。

（画面表示）

ヒータ　あと15分
あたため中

- タイマーボタンを押すとヒータ時間の切り替えができます。
  ヒータ時間は通常15分に設定されていますので30分に切り替える場合は、
  タイマーボタンを押して切り替えてください。
  (あたため中に15分から30分に時間を切り替えても、ヒータ時間は開始から30分の時点で停止します。)

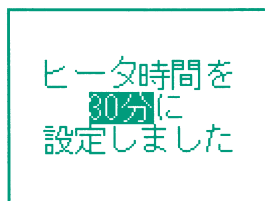
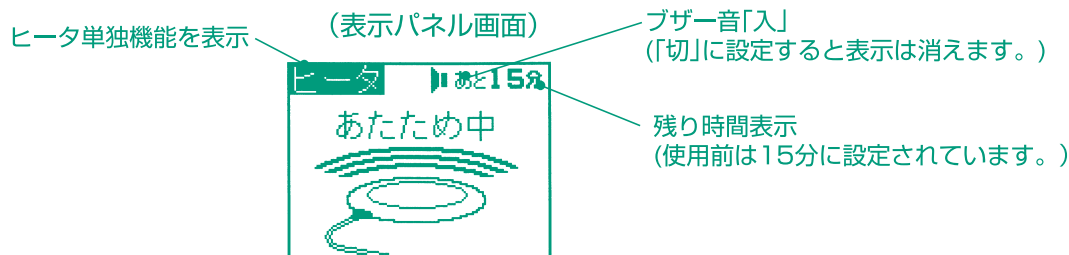
（画面表示）

ヒータ時間を
30分に
設定しました

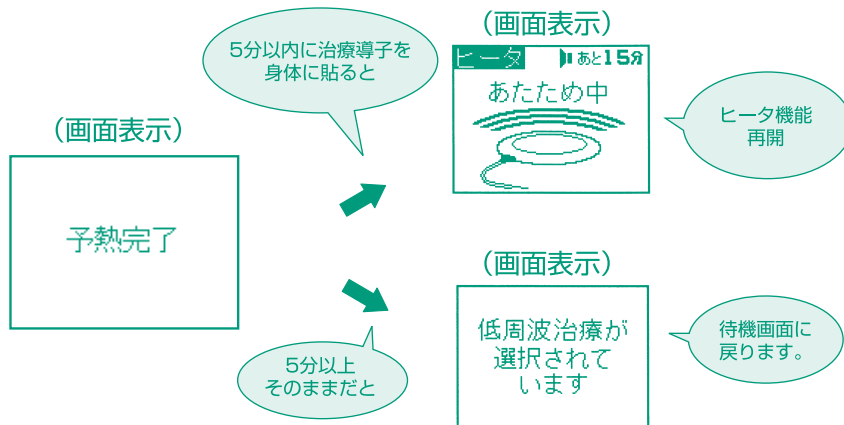
ヒータ単独機能中の画面表示例

（表示パネル画面）

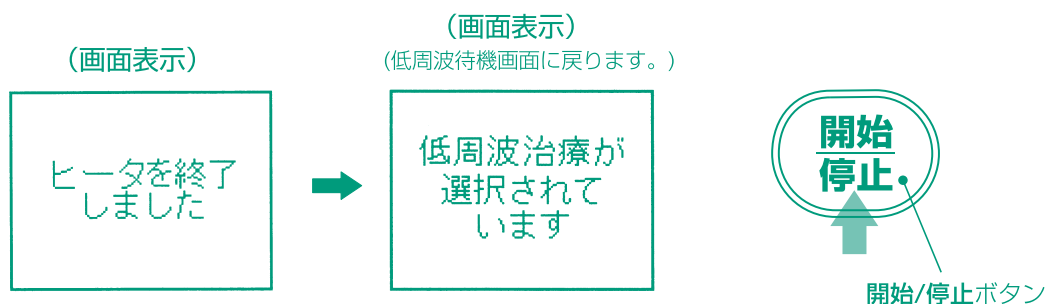
ヒータ　あと15分
あたため中

- ヒータ単独機能を表示
- ブザー音「入」（「切」に設定すると表示は消えます。）
- 残り時間表示（使用前は15分に設定されています。）

ご注意

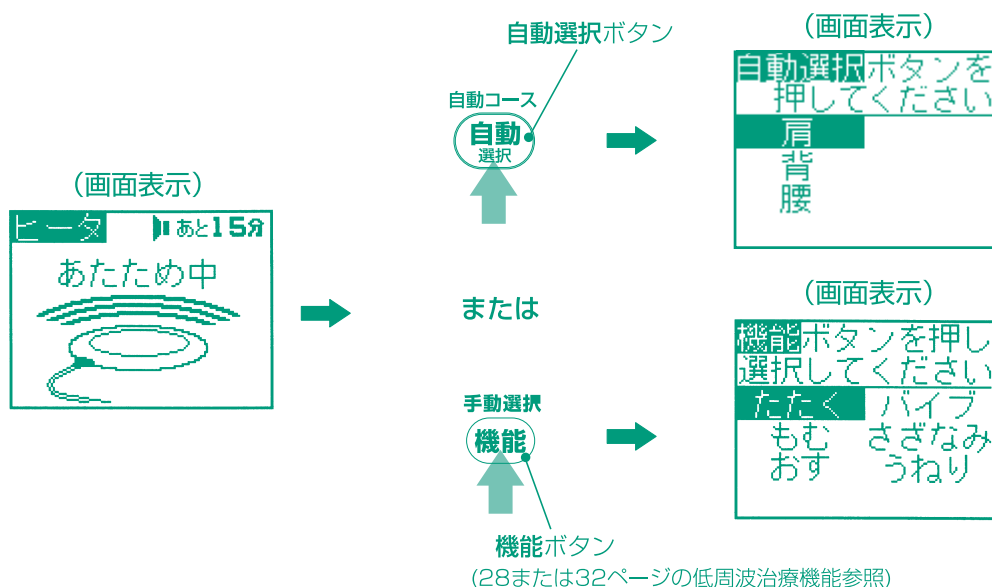
- ヒータの温度は変えることができません。
- あたため中に治療導子を剥がしたり、剥がれたりすると約5秒間で下の画面が表示され、ヒータ単独機能が一時終了します。再度、治療導子を貼りなおすと「あたため(ヒータ単独機能)」が自動的に開始します。
  ★残り時間のヒータ単独機能が再開されます。(治療導子が剥がれた状態の時間はカウントされません。)
  (治療導子が剥がれた状態が5分以上続くと、待機画面にもどります。)

使いかた

3 ヒータ時間が終了すると、ブザー音が鳴り「あたため」が終了します。

（**ブザー入/切**スイッチで終了時のブザー音を消すことができます。）

● あたため中に**開始/停止**ボタンを押しても終了できます。

4 「あたため」中に低周波治療を行う場合。

● 「あたため」中に低周波治療を行う場合は、そのまま**自動選択**ボタンまたは**機能**ボタンを押すと低周波治療ができます。

使いかた

治療が終ったら

1 主電源を切ります。

治療が終わったときは、液晶画面に治療終了が表示され、
待機画面になります。

- **電源**スイッチを押して、液晶画面が消えるのを確認して
  コンセントから電源プラグを抜いてください。

⚠注意	**電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグ部を持って抜く。** 感電・ショート・発火の原因。

（画面表示）

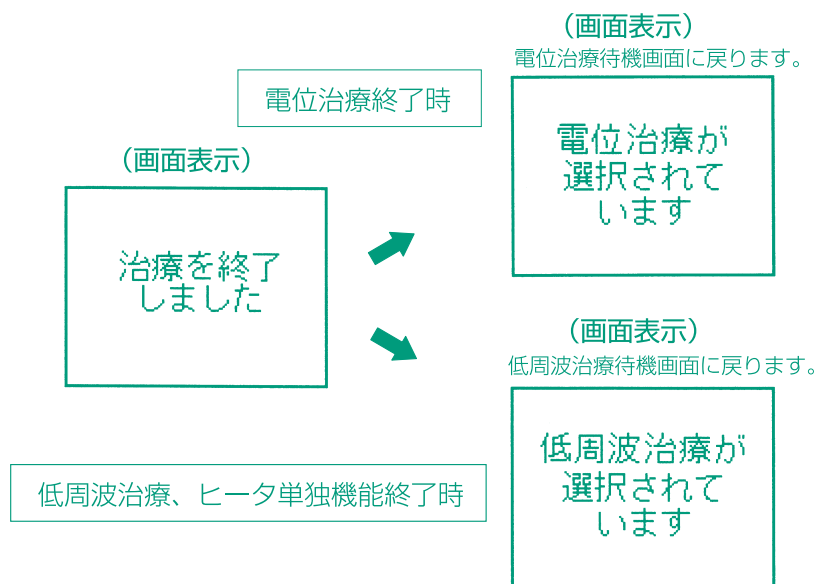
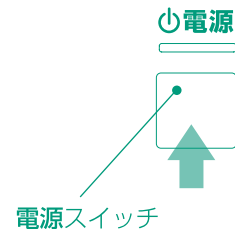
治療を終了
しました

電位治療終了時

（画面表示）
電位治療待機画面に戻ります。

電位治療が
選択されて
います

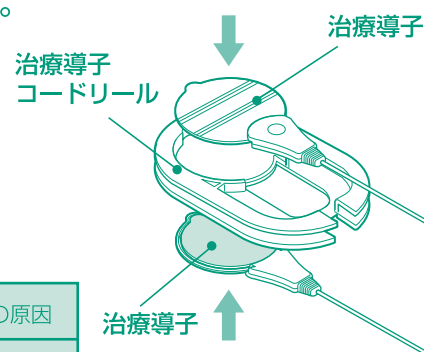
低周波治療、ヒータ単独機能終了時

（画面表示）
低周波治療待機画面に戻ります。

低周波治療が
選択されて
います

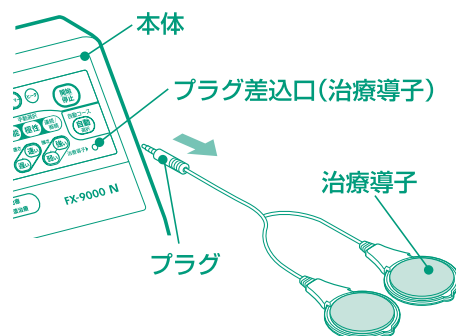
2 低周波治療またはヒーター単独機能を終了したとき。

(1)身体から治療導子の粘着パッドをはずします。

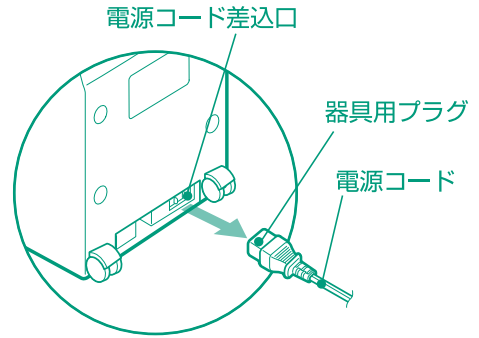
- 身体からはずした治療導子は粘着パッドの粘着力が劣化しないよう治療導子コードリールに位置を合わせ貼りつけてください。

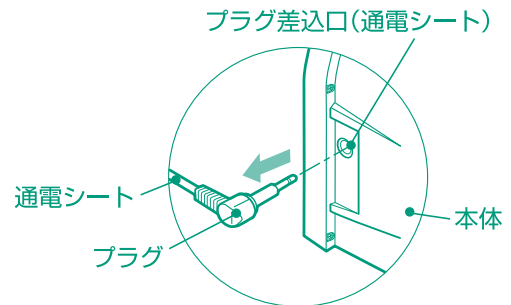
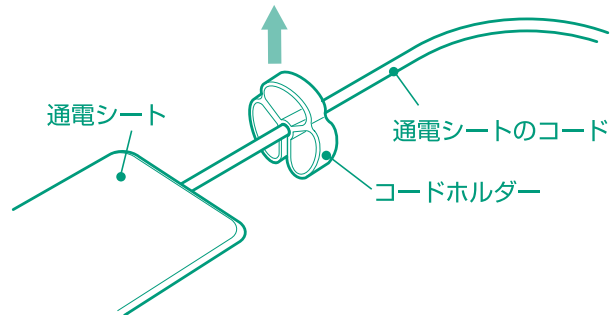
⚠注意	**治療導子のコードは引っ張らない。**故障の原因
	粘着面を触れない。粘着力が低下します。

(2)プラグ差込口から治療導子のプラグをはずします。

⚠注意	**プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグ部を持って抜く。** コード断線の原因

使いかた

3 電源コードをはずします。

電源コード差込口から電源コードの器具用プラグをはずします。

⚠注意	**器具用プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグ部を持って抜く。** 感電・ショート・発火の原因。

4 電位治療を終了したとき。

(1) プラグ差込口から通電シートのプラグをはずします。

(2) 通電シートのコードからコードホルダーをとりはずします。

お手入れと保存

本　体

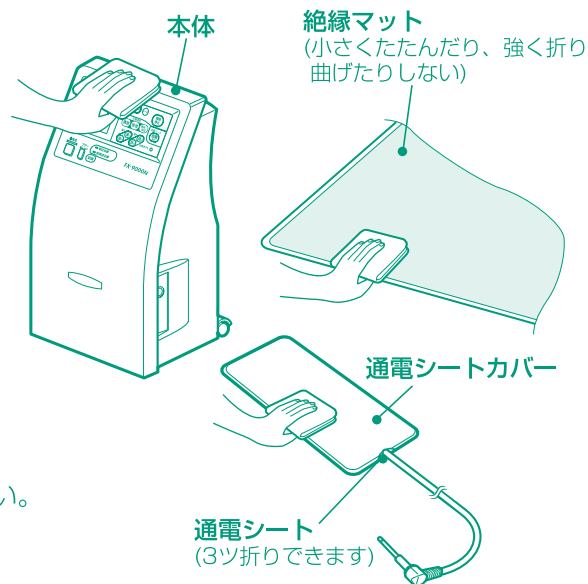
1 本体のお手入れ

(1)本体・絶縁マット・通電シートの汚れは、水またはぬるま湯に浸して固く絞った布でふき取ります。

- 汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませた布でふき取った後、乾いた布で洗剤が残らないようによくふき取ってください。

(2)化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意に従ってください。

(3)通電シート・絶縁マットに破れや傷がないか確認します。
傷んでいる場合は、新しいものと交換してください。

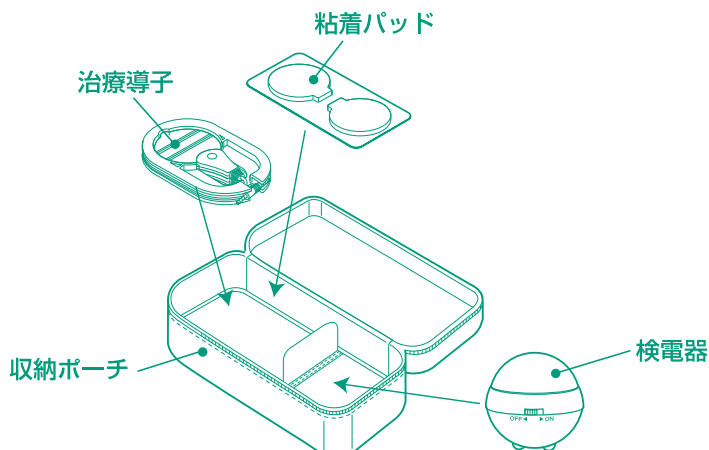
★通電シートカバーは、交換するとき以外はずさないでください。(通電シートを傷め、故障の原因)

⚠警告	本体を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。事故や故障の原因。 誤って落とした場合は、異常がなくても必ず点検を依頼してください。
	本体や治療導子、通電シートは修理したり改造したり絶対にしない。 火災、感電、事故の原因。

⚠注意	ベンジン・シンナー・アルコールなどは使用しない。 ひび割れや変質、塗装のはがれの恐れ。
	絶縁マット・通電シートカバーは丸洗いやドライクリーニング等の洗濯はできません。　故障や事故の原因。

お願い

- 通電シート・絶縁マットの乾燥は陰干しにしてください。

2 本体の保存

ほこりがつかないように本体は布などで包み、治療導子や粘着パッド及び検電器は収納ポーチに入れて、保存してください。

⚠注意	温度・湿度の高い場所、ほこりの多い場所、水のかかる場所などには保存しない。 故障の原因。
	通電シート・絶縁マットは無理に折り曲げたり丸めたりしない。故障の原因。
	1ヵ月以上使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

つづく

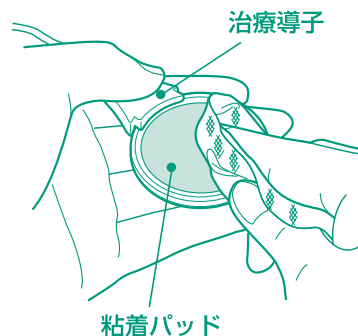
治療導子

1 粘着パッドのお手入れ

粘着パッドの粘着力が低下したときは、汚れをとり水分を与えます。

（1）水をしみこませた布で粘着面を湿らせ汚れをふき取ります。

- 水分を与えすぎると粘着力が弱くなります。

注意	**水洗いはしない。電極には水をつけない。** 故障の原因。

（2）約5分程度放置すると一時的に粘着力が回復します。

（3）粘着力が回復しない場合は新しいものと交換してください。

- 交換の目安は、使用時の皮膚の状態や個人差で異なりますが約30回使用後です。

お知らせ

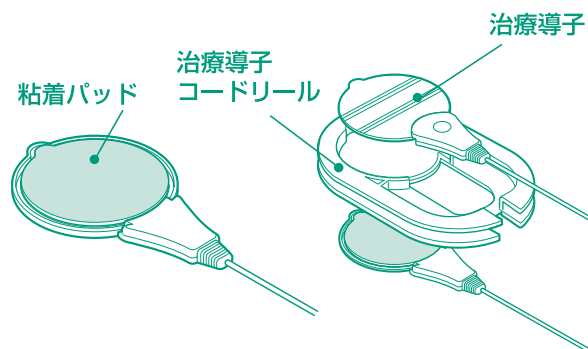
- ご使用中、地肌からの汗や汚れの付着により粘着パッドの表面が変色する場合がありますが、性能には支障ありません。

粘着パッドは消耗品です。専用の粘着パッド（別売品）をお求めください。
（粘着パッド　4枚入り）

2 粘着パッドの保存

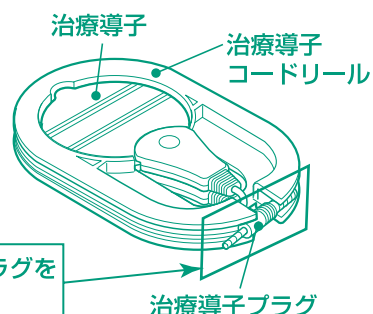
交換用の粘着パッドは、高温多湿、直射日光のあたる場所には置かないでください。

3 治療導子の粘着パッド部を治療導子コードリールに位置を合わせ貼りつけます。

粘着パッドから剥がしたフィルムは貼りつけないでください。

お願い

治療導子は水洗いできません。濡れたタオルや布等で汚れや油分をふき取ってください。

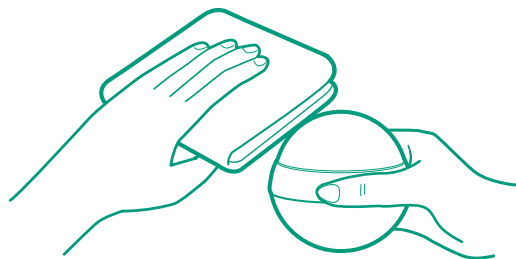
4 治療導子のコードを治療導子コードリールに巻きつけ、治療導子プラグを固定します。

治療導子のコードは強く引っ張ったり、強く巻つけないでください。コードの断線につながります。

お手入れと保存

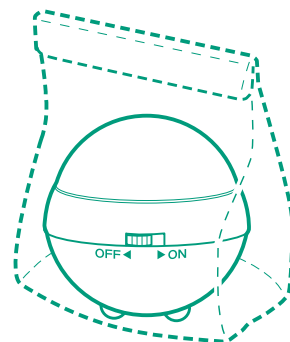
検電器

1 検電器のお手入れ

乾いた柔らかい布で汚れをふき取ります。

- 汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませた布でふき取った後、乾いた布で洗剤が残らないようによくふき取ってください。

⚠注意	ベンジン・シンナー・アルコールなどは使用しない。 ひび割れや変質、塗装のはがれの恐れ

2 検電器の保存

ほこりがつかないように、袋などで包み収納ポーチに入れて保存してください。

⚠注意	温度・湿度の高い場所、ほこりの多い場所、水のかかる場所などには保存しない。 故障の原因
	1ヵ月以上使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

製品を廃棄するときのお願い

ご使用済み本体および用品・付属品の廃棄に際しては、お住いの地域の条例などに従って処理してください。

故障かな？と思ったら

つづく

こんなとき	考えられる原因と処置	参照ページ
電源スイッチを押しても液晶画面が表示しない。	●電源コードのプラグがコンセントから抜けていませんか。 →プラグを根元まで差し込んでください。	18、24
	●電源コードが本体の電源コード差込口からぬけていませんか。 →電源コードを電源コード差込口の根元まで差し込んでください。	18、24

電位治療ご使用時

こんなとき	考えられる原因と処置	参照ページ
スイッチを入れると「ブーン」という音がする。	●通電シートのコードが柱・床・壁などにふれていませんか。 →コードホルダーをしっかり取り付けてください。	17
リモコンの操作ができない。	●リモコン受信部に蛍光灯の光や強い照明光が当たっていませんか。 →蛍光灯の光や強い照明光の当たらないところで行ってください。	13
	●本体の電源スイッチを押しましたか。 →電源スイッチを押してください。	19
	●電圧・波形・時間設定の選択をしましたか。 →開始ボタンを押す前に選択してください。	20
	●プラグ差込口(治療導子)に治療導子が差し込まれていませんか。 →プラグ差込口から抜いてください。	21
	●乾電池が消耗していませんか。 →新しい乾電池と交換してください。	16
	●乾電池が正しく入れられていますか。 →リモコンの乾電池の入れ方を参照ください。	16
高圧出力が出ていない。(検電器を使っても反応しない)	●通電シートの接続は完全ですか。 →電源を切ってから本体と通電シートの接続をしっかり行ってください。	17

検電器ご使用時

こんなとき	考えられる原因と処置	参照ページ
音が出ずランプも点灯しない。	●スライドスイッチが「ＯＦＦ」になっていませんか。 →「ＯＮ」にしてください。	23
	●乾電池が消耗していませんか。 →新しい乾電池と交換してください。	23
	●電位治療中になっていますか。 →電位治療を開始してください。	19
	●検電器を正しく持っていますか。 →ランプカバーに触れると検知できません。	23

故障かな？と思ったら

低周波治療器ご使用時

こんなとき	考えられる原因と処置	参照ページ
刺激がでない。 刺激が弱い。	●治療導子のプラグが抜けていませんか。 →プラグをプラグ差込口の根元までしっかり差し込んでください。	25
	●粘着パッドが接触または重なっていませんか。 →一度電源を切り、重ならないよう位置をずらして貼ってください。	26
	●強さがゼロになっていませんか。 →強さボタンの「強い」を押して強さを調節してください。	28、32
	●治療導子の片方が身体からはずれていませんか？ →貼りなおしてください。	30、34
刺激がとぎれる。	●動作表示が［断続］になっていませんか。 →連続にしたい場合は連続/断続ボタンを押して切り替えてください。	34
	●治療導子のコードに亀裂や損傷がありませんか。 →使用を中止し新しいものと交換してください。	25
治療導子の粘着パッドが貼りつかない。	●治療導子の粘着パッドに貼られているフィルムが剥がされていますか。 →粘着パッドのフィルムを剥がしてください	25
	●粘着パッドの表面が汚れている。 →水をしみこませた布で表面をふいて約5分程度放置してください。汚れをふき取っても回復しない場合は新しいものと交換してください。※水洗いはしないでください。	43
肌が赤くなる。 肌がチクチクする。	●使用の治療時間が長すぎませんか。 →同一部位への使用は間隔をあけてください。	6
	●粘着パッドが傷んでいませんか。 →粘着パッドは消耗品です。新しいものと交換してください。	24
	●刺激が強すぎる。 →体調にあわせた強さの設定をおこなってください。	28、32
ヒータが暖まらない。	●治療導子のプラグが抜けていませんか。 →プラグをプラグ差込口の根元までしっかり差し込んでください。	25
	●治療導子のコードに亀裂や損傷がありませんか。 →使用を中止し新しいものと交換してください。	25
表示パネルに「エラー発生」が画面表示される。 エラー発生 ! 電源スイッチを入れ直してください	●表示パネルの液晶に「エラー発生　電源スイッチを入れ直してください」が表示された場合は、表示内容に従って、再度電源を入れ直してください。 →上記の対応を行っても、動作を行わないまたは、同じようなことが度々生じる場合には、本体の電源スイッチを「切」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。	–

アフターサービスと保証

<保証書>(別に添付してあります。)

お買い上げの際に、保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになり大切に保存してください。

● 保証

お客様の正常なご使用方法によって使用され、万一故障が生じた場合には保証書裏面の保証規定内容により、お買い上げの日から1年間は無料修理いたします。

● 有償修理を依頼される場合

お買い上げ日より1年を経過した場合や保証規定以外の修理は有償修理となります。修理が必要な場合は、ご購入先までご連絡ください。

● 補修用機能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用機能部品を、製造打ち切り後6年間保有しています。
補修用機能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 故障が発生した場合や異常を感じた場合

ご使用の製品が故障したり異常を感じた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次にご購入先まで「製品の品番：FX-9000 N」・「故障や異常の具体的な症状」・「保証の有無」・「ご自宅の住所・電話番号」などをご連絡ください。

● その他ご不明な場合

アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。

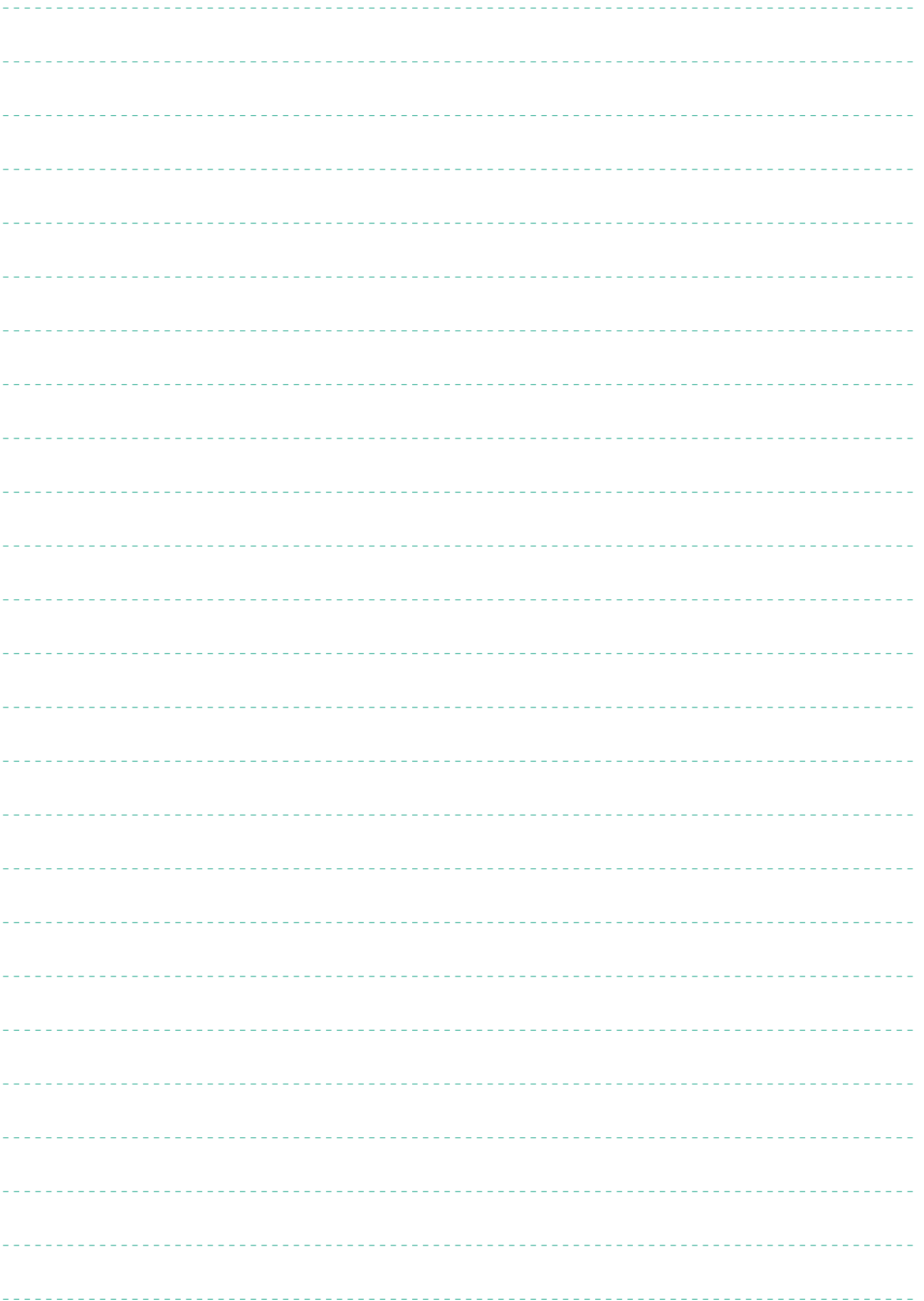
● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されてます。

技術料	診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

消耗品のお買い求め方法

■粘着パッド
品番：NP-01

★商品のご購入先へご注文ください。
ご購入先以外でのご注文方法は次のとおりです。

★弊社 フジ医療器 お客様相談窓口へのご注文方法
フリーダイヤル 0120−027−612
受付時間(月〜金) 9:00〜17:30、但し、祝祭日、弊社休日を除く

★弊社 フジ医療器 のホームページからのご注文方法
http://www.fujiiryoki.co.jp
トップページの「フジ医療器モール」⇒「消耗品・別売品」
⇒「低周波治療器･温熱治療器消耗品・別売品」からご注文ください。

仕　様

項目		内容
一般的名称		低周波･電位組合せ家庭用医療機器 (JMDNコード 70995000)
販　売　名		エレドック N
品　　番		FX-9000 N
電源電圧		AC100V　50-60Hz
電位治療器	消費電力	約15W (9000V時)
	出力電圧	3000V、6000V、9000V
	使用時間	20分/40分/60分
	用　　品	リモコン、通電シート、絶縁マット
	安全装置	使用時間設定タイマー内蔵により最大60分で出力を自動停止します。
		出力部に保護抵抗を直列接続して電流の流れを制限しています。
		接続検知機能により低周波治療器との同時使用はできません。
低周波治療器	消費電力	約20W(ヒータ「ON」時)　　約6W(ヒータ「OFF」時)
	発振周波数	約１～1200Hz以下
	使用時間	15分/30分
	用　　品	治療導子(電極2個)
	安全装置	使用時間設定タイマー内蔵により最大30分で出力を自動停止します。
		電源投入時の急激な刺激を防止するため常に出力強さは「ゼロ」です。
		接続検知機能により電位治療器との同時使用はできません。
寸　法	本　　体	幅約265mm×奥行約225mm×高さ約470mm
	絶縁マット	幅約1.2m×長さ約2.1m
	通電シート	幅約280mm×長さ約595mm
本体質量		約9.0kg
電源コードの長さ		約1.9m
通電シートのコード長さ		約2.6m
付属品	本　　体	収納ポーチ
	電位治療器	検電器、コードホルダー(6個)、 単3形アルカリ乾電池(LR6) 2個、単4形アルカリ乾電池(LR03) 3個
	低周波治療器	粘着パッド4枚入り(1個)、治療導子コードリール(1個)
別売品		粘着パッド4枚入り(NP-01)
医療機器認証番号		222AKBZX00104000
製造販売元		九州日立マクセル株式会社 福岡県田川郡福智町伊方4680 電話：0947-22-0585
製　造　元		

お客様相談窓口

0120 フリーダイヤル
0120-027612
受付：月曜～金曜　午前9時～午後5時30分
※但し、祝祭日、弊社休日を除く

FAX・E-mailでの受付も行っております。
FAX番号：06-6644-9103
E-mail：フジ医療器ホームページのお問合せフォームにて受け付けております。
フジ医療器ホームページ　http://www.fujiiryoki.co.jp
※FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

個人情報のお取り扱いについて
ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて
株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合せは、ご相談された窓口にご連絡ください。

お客様へ…ご購入年月日・ご購入先名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入先名	TEL

販売元
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

2010年9月28日作成（新様式第1版）

9XYZ0(KW)EDCBA